

癌発見

私鮫島加陽子は 2013年 2月末 軽い気持ちで乳がん検診を受診しました。

結果は要検査。確認のために、違う病院で再検査をするも、 やっぱり結果は乳がん……

え？頭が真っ白になりました。MRIで全身検査すると転移は見られないもの胸には多発性の癌が大小複数あった。小さいものまで数えると20個以上あったかも手術をすすめられ多発性のため 片方の胸は「全部摘出」と言われました。片方の胸がなくなっちゃう…それでも命がかかっているなら しょうがないのかな。思えば子どものころから病氣ばかりしてた。腎臓を片方なくし(摘出しました)

出産の時も大変な思いをして 苦しみました。母体が危なくなって帝王切開) また病院かぁ

両親の介護と子育てが終わった途端に病院の世話になるのかぁその時、 癌が自然治癒するということがあると 兄から聞きそこにかけてみました。胸をなくすのは嫌だったし手術は最終手段でいいそう決めて…癌は見事に消えました。
癌で苦しんでいる方に 治るから大丈夫だよ！ということを伝えたいと思って 発信していくことにしました。

私は子供のころから病氣ばかりしていました。2つある腎臓のうち1つが体の中で腐った状態になっていました。そんなだから 身体は人一倍弱い子でした。

すぐ風邪を引いて熱を出し母や兄におんぶしてもらい病院まで行くこと度々。幼稚園の頃はプールにもはいれませんでした。腎臓を摘出すると決めた時に妊娠していることが分かり 泌尿器科と産婦人科の先生のお陰で何とか出産できました。出産当日は産婦人科の入口に救急車が待機し 泌尿器の病院の手術室もオペが出来る状態だったそうです。子供が10ヶ月の時に腎臓を摘出しました。帝王切開と腎臓摘出の傷が体に残りました。

月日が流れ 両親が癌で相次いで亡くなりました。介護の間、仕事はいつでも病院に行けるところに変わりましたが色々不都合な事もありました。癌の怖さを目の当たりにしてきました。

(今だから言えるのですが 両親が癌になり それを見続けていたのでその怖さが 心に焼き付いてしまったのです。

そして両親が亡くなり 数年後に 自分が癌になりました。ショックでした。涙が出た。友達に相談したら彼女が心配し、泣いてくれて一緒におお泣きました。(今では あの日泣いた涙返して！って言われます)

私が癌になった！？しかも親よりも若い年齢で！？

嘘でしょ。がーん、いやだー まだ死にたくないよ。・°°(≥д≤)°°。

先生「右に複数の癌細胞があるんだけど 部分切除は難しいね。

全体的に散らばってるから全部摘出する手術になるからね。」と言われた。

(この胸ともお別れなんだ。なんだか寂しいしバランス悪くなるよなぁ

末期じゃないから大丈夫。切ったらすぐに良くなるよ。手術してチョチョいで終わりだよ。)

という思いと 親の死がリンクしてくる。切ったって再発のリスクがあるよね。

再発したら 親と同じ運命をたどることになるし…怖い、まだ死にたくない。

そういえば ここ何度も親の夢を見てる 何か変な胸騒ぎがする。

手術は家族の同意書が必要になる。離婚して夫はいないし、未成年の子供に同意書を頼むわけにもいかないし…あまり連絡をしていないが 近所に兄がいる。兄しか頼める人はいないよね。

「兄ちゃん私ガンになっちゃった。手術するからサインして。」

そうして 重い腰を引きずり 兄に病院について行ってもらいました、

兄と一緒に病院に行き説明を受けました。兄は 私以上にショックだったみたいです。

兄の驚き兄のブログより

兄妹から感じる雰囲気何かおかしいものを感じて、「なんか、そばに寄りたくないな。」そう思ったのが 2012 年の末から正月にかけてだったと思う。それから 4 か月後の 2013 年 4 月末、5 月の連休前に連絡があり、

「兄ちゃん、癌になったから。手術をするからサインして。」これが 久しぶりに会った妹からの連絡だった。

？ ？ ？ なんだ？なんだ？何って言った？ え？ 癌って！？しばし軽いパニックに陥った。

妹は「乳がんなんだ、胸を全部手術で取った方がいいって。抗がん剤打っていけばいいって。

癌が数個 胸に散らばってるんだって。全摘は、しょうがないかな。」

「お医者さんに言われて、取るって覚悟決めたんだ。」と。

両親も癌でなくなった。仕事が忙しい僕に代わって、妹がずっと両親の看病をしていた。

亡くなった両親と妹の姿が重なって見えた。まだ死ぬには若い。若すぎる。ちょっと手術は待て！

セカンドオピニオンも考えよう。そう説得するのがやっとだった。

両親が癌だった。看病しているうちに、癌の怖さが脳に焼き付いている。

「癌は怖い」と心に焼き付き インプットされている。

だから引き寄せた可能性もあるね。という師匠の 言葉が引っ掛かった。実はこういう人が多いんだそうだ。

親が癌だからといって、自分もなる必要はない。

「癌は遺伝ではない。思考だ」という話も健康道場で聞いたことがある。

この後僕は、1 年にわたって、妹の癌完治に向けて、どんな手助けができるのか、模索して行くことになったのである。

4 月下旬 ほかほか陽気の気持ち弾むこの季節、陽気とは裏腹に、一気に気持ちが冷え込む事態に遭遇した。

「兄ちゃん、あたし癌になったから。連休明けに手術するから同意書にサインして」

そう、妹からいきなり切り出されたことだった。

治ってみれば、あの時は、あたふたしたねえ(笑) と 冷静に振り返ることができる。

確かに 最初は、動揺し、気落ちしたものの、

「自分の人生、周りで起こることは、悪いことのように思えたとしても、すべて自分を成長させるための神の采配。すべて乗り越えられる。」

心に掛かっているものがあって(これも大丈夫。乗り越えられる。)そう、思えると、何とかなるさと少々楽天的になれたと思う。

それに、癌をという言葉の前に そう、自分の力でどうにもならない事態ならば受け入れようと、

じたばたせずに降参することにした。(自分の力だけではどうにもならない。なるようになる。)

すると、手術さえしなければ、ほかの方法で妹は助かる。大丈夫、今思えば、根拠のない、不思議な確信が芽生えたことを思い出す。

師匠から、

「心配すれば、心配事が、心配しながらお友達を(心配事を)連れてやってくる」と、

見つめたものは引きよると教わっていたから心配しないようにしよう なんて最初は考えてしまったのだが、

「心配をしない」という意識では、 心配を意識しちゃっているではないか。いかん。

こんな事態で心配するなという方が土台無理と 僕らは心配を見つめちゃうことが多いけど、

心配して何とかしようとかあがくには、事態が自分には大きすぎた。

事態を受け入れよう。だからといって、決して、あきらめたわけではなかった。

事態を受け入れた上で、最善を尽くすことだけに集中する。

(今思えば、ここに至ることができた時点で、不安が小さくなっていった気がする)

自分にできることで、妹に尽くしてみよう。自分の持てる知識を与えよう。

自分にできることで、妹の力になろう。疎遠であった妹が、急に身近に感じられた瞬間だった。

手術の同意書。それを見ながら、これまで癌で亡くなった両親を思い出していた。特に、父はガンの摘出手術をした後、痩せ衰えて、手術が体質的に負担だったのか、その後も心臓やほかの器官に変調をきたして苦しんでいた。

身体からエネルギーがなくなっていく感じを受けていたことが蘇ってきた。どうしても手術させたくない。

「ちょっと手術は待て。もう少し検討しよう。」と説得して、

担当医にも一緒に掛け合っ、10日間後の手術は取りやめてもらい、

一時は安堵したものの、はたと、癌を治すには？で思考が止まった。

愛場師匠にどうしたものかと相談すると、「3大療法(『手術療法』『化学(薬物)療法』『放射線療法』の3種類)よりも、オゾンマグネ療法が癌に有効だと日下ドクターが教えてくれたよ。すぐに切るなっていってた。そういうドクターもいるんだよ。

体に負担のないイメージ療法とかも あるけど、本人がやらないとねええ・・・」

(そうなんだよな、本人がやる気がないとなあ、と自分もうなずく)

「レイキヒーリングの遠隔のほか、何かできることはありますか」

※レイキは今から百年以上も前に日本で作られたセルフヒーリングのテクニックのこと、

「レイキの遠隔より 瞑想で遠隔してごらん。レイキはエネルギーが行くけど、もっと瞑想のほうがパワフルだからやっごらん。そのほうが効果的だよ。相手の意識と繋がれるよね。」

最初は手間がかかるけど、頑固な人とかだと大変だけどやってみてあげてね。」そうアドバイスを受けた。

そうだよな。習ったよな。ちあ魔女の音声ファイルも持っているし。

えっと、遠隔ヒーリングの心構えの誘導もあったな。初心に戻って聞いてみるか。妹のためにサボっていた瞑想を必死に始めた。とにかく妹を救いたい。仲が良かった兄妹か？と問われると

正直、「はいそうです」とはっきり答えられない。

子供のころ、仲良かったという思い出もあまりない。逆の方が多いかも。結婚してお互いに疎遠にもなった。

でも、血がつながっている身内を失うのはもういやだ。なんとかしたい。そんな思いが湧き上がっていた。

僕の思いが届くように、まずは心を静めて、瞑想をしてみよう。

ゆったりと座り、呼吸法で心を落ち着かせていく。ただただ、妹の癌が治って元気になるイメージをしていった。

すると、光が降ってきたイメージを垣間見て「治るかも！」不安からそんな確信に変わっていった。

瞑想で、かつて僕の一時のパニック発作も和らいだ。

瞑想は、ストレスに効果的で、心を平安にするには、呼吸法が強力なツールだと思う。

乳癌になった妹、手術をもう決めているけど、どうしても切らせたくない思いがあった。

妹のために持てる知識と能力を総動員しようと決めたもの

本人の意志をねじ曲げて、無理矢理、手術の中止させることはできない。

どうしよう！どうしよう！！迷走しかけた心を押さえてまず最初にやったことは、師匠にアドバイスを求めたことだった。

「面と向かって実際に説得する前に、瞑想で説得してから、実際に話すこと」

何事も事に当たる前に、うまくいった結果をイメージして確信できたら行動に移す。

本人の意志でやめる決意をして、切らずに治癒するマインドになって欲しい。さあ、やるぞ！

今 思い出すと、説得の瞑想に当たって、一番気をつけたことは、不安な思いを無くして平常心でいようとしたことだったと思う。

(不安を伝播させない)

そして、自信を持って語りかけることだった。(大丈夫と勇気づける)

さあ、自分にできることを尽くすぞ。そして、神様、どうか 加陽子のために全力を尽くせるようお力添えください。

最初、そう自分に宣言した。これも大丈夫。乗り越えられる。

じたばたせずに降参しよう。事態を受け入れよう。

そして、神様、どうか 加陽子のために全力を尽くせるようお力添えください。

と祈った。僕は宗教には入っていないわけではないが、神社、お寺、教会どこでもパワースポットと呼ばれるところはいってみたい。困った時の神頼みをした。

最初、そう自分に宣言するとゆっくりと深く、腹式呼吸を始める。呼吸を意識して、ゆっくりと吸って吐いてを繰り返す。リラックスすることを心がけていく。

落ち着いてきたところを見計らって、妹の顔を思い浮かべていく。

ぼんやりと顔の輪郭が浮かぶ程度のイメージだったが、表情が硬く、暗い感じかなという印象をもった。

言葉を尽くしても、聞いてくれそうにないなと感じたので、

暖かな光が天から降り注ぎ妹を包み、優しく硬い表情が溶けていく。

妹の表情が変わらなさそうでも、頑なな感じが光で溶けていくと、そう思ってから語りかけていった。

自分の思いが届くようにと、自分からも、思っていることが光となって、妹のハートに届くイメージをした。

最初はイメージがうまくいかなかったが、うん、届いている！そう思って語りかけを続けた。

心配が先に立って、リラックスがうまくいかないときもあった。

そんなときは、身体を動かし、ちょっと場所を変えてからやってみた。

気分転換して、平常心で、自信を持って、「おまえのことを思っているよ」を常に心に掛けていたと思う。

自問自答だったと思うけれど、

妹が「でも、……」と不安を口にする感じが浮かべば

「大丈夫……」と一つ一つ言葉を尽くしていく。

何度かやっているうちに、固い暗い表情のイメージから、ちょっと穏やかな感じで

「じゃあ、手術は伸ばしてもらって様子を見る」と言ってくれたイメージがずっと出てきて、

「うん、やめてくれるかも」後日 会って、説得をしたのだが

手持ちの資料や本なども見せながら、できるだけ穏やかに、瞑想でやっていた感じで話をした。

不思議に反発することなく、話を聞いてくれた。結局説得できたのだが、瞑想で止めてくれるかも って思えるようになったことは、自信を持って話せたことにつながり、実によかったと思っている。

兄と一緒に病院に行き説明を受けました。兄は 私以上にショックだったみたいです。

病理組織検査後、病院で兄が

「同意書ちょっと待て。セカンドオピニオンもあるし よく考えてから決めた方がいいぞ。」と 私を説得してきた。

「手術はいつでもできるし その前に考えろ。ちょっと待て。」そう言われた。

検査の傷跡がスゴく痛い… 確かに手術して切除したらもっと痛いかも…

違う！痛いのは傷跡じゃなくて心！

ただでさえ帝王切開と腎臓摘出の傷があるのに。これ以上体に傷をつけたくない。まだ時間はある！

手術して取ったら後悔しても遅いよね。後悔しないようにしよう。

だって自分の体だもん。そう考えて 決まっていた手術をキャンセルし

病院の先生は呆れてました。今更キャンセル！？手遅れになっても知らないよ…

みたいなかんじだったけど きにしな

キャンセルして不安がないわけじゃない。どうしよう…本当にいいのかな。

いや、今すぐ死ぬわけじゃないし大丈夫だよ。いろんな思いとの葛藤でした。うーん
せっかくだから兄が勧めてくれた本を読んでみようかな。

不安を打ち消すように兄から 色々な本を借りて読みあさりしました。

と読みあさっていくうちに本当に手術していいのかな？

手術は 思った以上に意外とリスクの方が大きくない？そういう疑問がわいてきました。胸なんて偽物だけどいいのかな？
見た目はいいかもしれないけどメンテナンスも大変そう…

もう 手術はしたくない あんな思いは嫌だ 体を切り刻むのは嫌だ そういう思いが強くなった。

えっ！？ 何これ！？ 癌が熱で消える？？？そんなことあるの？？？

本に書いてあった言葉に妙に引っ掛かった。

兄に勧められてちあ魔女のホームページをいってみました。「治ったらいいな…」ではありません。

何が何でも治るぞ！という強い意志、決断です。100%決断すること。そうすると直感が冴え、治るために必要な情報
(病院や治療法なども)が入ってきます。(ヒーリングルーム愛 ホームページより)

そういえば 子供のころは直感冴えていたな。なにが なんだか わからないけど…私の中の直感が動き出し始めました。

何度も見た死ぬ夢

○病室のベッドに私が寝ていて、目を開けるとの周りに兄や息子、友人が心配そうに見つめています。

(ああ 私、もうすぐ死ぬのかあ。そんな顔して見ないで。でも短い人生だったなあ。

今から楽しもうと思っていたのに、手術したけどダメだった。

切らなきゃよかったのかな。(息子に)こんな母親でごめんね。もっと話したいこともあったのに。

いい人見つけて結婚して幸せになってね。孫の顔みたかったな。)と、いうところで目が覚めました。

えっ?!何この夢。リアルだったんだけど。でも夢で良かった～ (汗;)

○ こんな夢も見ました。

同じように病室のベッドに寝ているのですが、今回は見舞いに来ていた兄に

「どうして勝手に手術したの。切らずに治療する方法があったのに。」と言われて

「どうしてそれを早く教えてくれなかつたの！切りたいくなかつたのに。今更遅いよ。」と 私が文句を言っているんです

○こんな夢も

自分が手術を受けた後、病院のベッドで死ぬ夢を見た。朝起きて ぞっとした、

死亡宣告を受けた自分がいた。やけにリアルだ。

ベッドの傍でたたずんでいる兄と息子の二人と、そして自分の身体を、

宙に浮かんだ視線で上から眺めている夢 ああ死んだらこうなるんだなあ

起きてから 生きてるよね、まだ生きてるよね。体を触って生きていることを確認にした。

そして動揺した。いやだ―― きゃ――死ぬのはいや どうしよう

手術が急に怖くなった。不安だ でも 手術以外に方法はないと医者は言うしなにか 心に引っかかっていた、。

○ また、家なのか病院なのかはつきりしないのですが、

カーテンの隙間からのぞく人？がいる。真っ黒な人影みたいでした。この世の人でないとわかります。

たとえて言うなら死神でした。必死に何かを 探している。

あ、私だ、私を探しているんだ。 見つかったら連れて行かれる。確実に死ぬな、はっきりわかりました、もう心臓バクバクでした。見つからないように恐怖と闘いながら
<見つけないで> と願うだけでした。

ほんの数秒だったかもしれない。数分だったかもしれない。私にとってはすごく長い時間でした。

目が覚めると、心臓の鼓動が半端じゃない。夢？現実？とにかく私は 助かった。そんな安堵で胸をなでおろし、手術を決めていたら 見つかった。そう感じた。手術を急ぐ必要はない、そうも思った。

続けてこんな夢を見るなんてどうして？虫の知らせってやつかな。

予知夢かもしれない…そう考えて 決まっていた手術をキャンセルを決めました。

(夢は意味がある。こうならないように変えなさいという意味だと後で知りました。この夢のおかげで手術を取りやめて 癌完治につながったと思っています。)

兄から 色々な本を借りて読んでみた。ご存知の方も多いかと思いますが、「抗がん剤だけはやめなさい」

「医者に殺されない47の心得 医療と薬を遠ざけて、元気に、長生きする方法」これは衝撃的でした。

医者はヤクザや強盗よりタチが悪いんです。ヤクザはしろうと衆を殺したり、指を詰めさせたりはしない。強盗だって、たいていはお金をとるだけ。しかし医者は、患者を脅して金を払わせた上、しょっちゅう

体を不自由にさせたり、死なせたりする。P9

最近「予防医学」が全盛ですが、その実態は「“患者を呼ぼう”医学」。医者の“おいしい”お客様にならないように気をつけましょう。大学病院、日赤、国立がん研究センターなど世間でいい病院といわれる設備の整った大病院は「いい実験を受けられる病院」癌で苦しみぬいて死ななければいけないのはがんのせいではなく「がんの治療のせいです。」でも医者は必ず癌のせいにします、騙されないようしましょう。P14

・医療だってビジネスで、医者にも生活があります。日本の医者は病人をできるだけ増やして、病院に通わせないとやっていけない。口車に乗せられるあなたは、医者の“おいしい”お客様。大事な時間とお金を医者に捧げて、命を縮めることになります。 P25

癌ほど誤診の多い病気はない。癌の9割は治療をするほど命を縮める。

「乳がん検診の結果はすべて忘れなさい」マンモグラフィーで見つかるがんは「もどき」しかしどの病院の外科でも手術で乳房をすべて切り取られる可能性が高いんです。手術を受けたとしても 寿命をが伸びることはないし治療を受けなかったとしても寿命が縮むわけでもないから患者さんに「乳がんの検診結果はすべて忘れなさい」といっています

しかし僕の提案はなかなか広まらないと思います。困る人が大勢いるからです。

「乳管内のがんは良性で一種の乳腺症」という提案を受け入れたら がん検診体制の根底が揺らぎ

放射線診断医を含め マンモグラフィー業界が困ります。組織診断のための生検や「治療」のための手術をする外科医も困ります。

乳房を切り取られた患者さんの乳房再建術をする形成外科医も困ります。

また乳管内のがんを良性としてしまうと病理診断形態の一貫性も崩れて困ったことがおこります。だから専門家たちが大反対するのです。良性なのに乳房を切り取られる危険を避けるには 自発的にマンモグラフィー検診から遠ざかるしかありません。 109

・乳房なら手元が狂っても命に別状はない。それで、若い外科医の「練習用」に重宝されているという、信じられない話

を同業者に聞いたことがあります。

海外では良性腫瘍とされるのを日本では「がん」と呼んでいるものも多い。「潜在癌や」がんもどきは自然に消える、。

薬で血糖をコントロールしていて、いつもだるい、イライラしてキレやすい、足元がふらつく、認知症が出てきた などの症状があったら薬害を疑ってください、僕は「副作用」という呼び方は薬害で起きた時のための口実で、薬の作用はすべて主作用」であり病気を治すどころか、逆に病気を招いたり、悪化させたりして最悪死に至らせる危険なものと考えています。そして、1冊読み終わると、次、次と、読む本も増えていきました。

7

年配の外科部長から若い内科にお礼の一封が来る。「よくぞ若い乳がん患者を発見 手術を勧めてくれた。ありがとう」の一封である。娘の乳房を一つきれば一千万超えの病院収入がある。外科も潤う。すべては内科医の診察から始まる。診察→マンモグラフィー検査→入院切除→標本採集→放射線治療→抗がん剤→死亡 一封がとりもつうるおいの流れ作業である。勤務医の多くが患者が治るとは思っていない。うるおうからベルトコンベヤーをまわしている 「AWG は医療か魔術か 」より抜粋

何年か経つうちに何かおかしいと感じるようになる。

それは、病巣を上手く切り取ることができ、手術は大成功の部類の入る。

患者さんが何年後、早ければ何ヶ月後に再発して入院されて来るのを度々みていたからである。

外科医の世界では癌は治らなくて当たり前、という考えが根強くあり、

そうした患者さんを見ても特に疑問を感じる必要はなかった。

私もいつかそんな風潮に流され「患者さんを治そう」などという志は忘れていた。外科医の仕事は病巣を切り取ることで、癌を治す事ではないのである。」略

身体はすべてを知っている。「治したい」という意志こそが免疫力なのだ。略

治癒への近道は身体を動かすこと。感謝の気持ちを持つこと、感謝の気持ちと回復度は比例する。

「病気が治る人の免疫の法則」福田稔 より抜粋

免疫機構は肉体、感情、知性、霊性など 4つのファクターの影響を受け、この4つのファクターのバランスで健全な状態を維持することができますが、免疫力を強化するうえで特に重要なのが患者ご自身の「自己決定」です。

「ソマチッドと714Xの真実」より抜粋

「医師は自分でもよくわからない薬をさらにわからない病気の治療のために、まったくわからない人間に浴びるほどふくませている。 「人はなぜ治るのか」より抜粋

信じることの治癒、大切なのはこのイメージ療法を何度試みたかどれほど熱心に やったかということであった。

「イメージの治癒力」より抜粋

色々な健康の本がいっぱいあった。ドクターが書いている 抗がん剤はいらない というのは説得力がある。

イメージで治す イメージの治癒力

自分で治す医学医者が書いた本 で イメージのことがたくさんあった。

たかがイメージだと思っていたが、案外 効果があるのかも と次第に 思えてきた。

兄はなんでこんな勉強をしていたのかな？聞いたら 自分もイメージでパニック障害を治した。

病院行っても原因不明だって言われて。ちあ魔女からいろいろ教わっていてさらに自分の体は、自分想いとつながっているから変えられることを知ったそうだ。少し兄の事も 信じてみようかと思った。

兄のブログより

師匠からこれまで習ったことを、少しでも治癒の期待感を持ってもらえればと妹に色々と話した。ただ、まるで聞いていない様子に、失望とiraだちに、何度か「自分自身の事だろう！もっと真剣に聴けよ」と言いたくなる言葉を飲みこむ。落ち込んでいるときにいくら言っても、本人が何とかしたいと言う気にならなければ、いくら言っても心に響かない、頭に残らないのは承知の上だったからではあるが、歯がゆくて仕方がない。だが、ここは信じて待つ。

師匠から、難病者向け イメージ療法等の参考課題リストをもらった。妹を見て、やってもらいたい いくつかの課題をアレンジして作り手渡した。課題の一つ一つを何のためにやるのか、説明して、やったら○をつけていくスケジュール表も作り渡した。

一人で取り組むのは、意思がくじけたりと難しい面もあるかもと、3、4 日ごとに「どんな感じ？うまくできてる？わからないことない？」と聞くと、やっていなかったり、できていなかったり。忙しい、忙しいと、逆に文句を言われる始末。手術をしないと決めたからには、ほかの方法で治すという気概が盛り上がっていると思っていたのだが。

痛むわけではない。身体が調子悪いわけではない。離婚していて夫はいないし、一人息子は県外に就職していて、世話を焼く人間はいない。寂しいという思いがピークで、もうすることないな もういいや という無意識の思いからか やってはいることもあるけれど、必死に取り組もうという姿勢があまり感じられなかった。

本人は、「治す気ある！そんなことない！」と言うのだけれども。モチベーションが低い。あせる。しかし、「なぜ言われたことをやらないのか」と責めるようなことはすまい と決めた。もちろん、厳しく言わなければならないときは、言うつもりであったが、あたしはダメかもしれないと受け取られるようなことは極力言わず、気落ちさせないように配慮したつもりだった。

周囲の評価によれば、自分は感情を態度と表情にモロ出すらしい。妹も、ちゃんと聞けよという態度に押しつけがましさを感じているかもしれないと忍 の一文字を思い浮かべて笑顔を浮かべる。妹が、時折見せる不安そうな横顔に、これを笑顔に変えたいと思う。もっと興味を持って、治る方法 聞いてくれないかな。

そこは、師匠がくんでくれて、「セミナーを受けるなら 必要な事は 私が伝えるけど、何より、自分で治す決断をしないと意識が治る方向に向かわないから」と 言っていた。

決断したつもりの人が多いようだ、バセドウ病を完治させた加藤えりさんのブログにもあるように <http://ameblo.jp/eriarigatou/entry-11803780327.html>
>今思うとおかしいけど健康の決断ができませんでした。

セミナー受けてみない？ エネルギー伝授を受けてみると変わるはずなのだ。根拠はないが 僕はそう確信していた。

これまでの瞑想の中でも、説得をするという手法をとっていたが、癌は怖い、寂しい、死んでもいいかも・・・そんな負のインプットがあったままでは、説得力も半減だろう。心を明るくしたい。妹へ話をするイメージの中で、癌は怖い、寂しい、死んでもいいかも・・・といったネガティブな思いを溶かしてしまうようにと暖かい光をイメージする。本人は無意識だろうけど、死んでもいいかもという思いを妹から感じていたのだった。

その光が自分のハートから妹に伸びて包み込むようにイメージしていった。光のシールドでガードをする。そのあとも、どんどん白い光を妹に送る。白い光は、あらゆるものを浄化する光。(呼吸法でもよく使われる) 光は、愛であると心で宣言する。愛で包む。その愛で癒される。力強く前向きになれる。できるだけ平常心で、自信を持って、「おまえのことを思っているよ」を常に心にかけていたけれども、うまくいかないときもあった。子供の頃から仲良かったわけではなく、鼻につくときも多く、「光で包み愛を送る」なんて、妹相手に、最初からイメージなんかできなかった。それでも、「愛あふれる光を送っている。妹はそれに包まれて守られ癒されている」そう思うことにした。そう宣言して、イメージがうまくいなくても、ただただ、光を送るイメージをしていた。(愛を送ってるんだあ！って)

僕が妹に伝えた癌を治すための絶対条件「手術を止める」と決心してくれた時に、まず、第一に『守ってもらいたいこと』を伝えたんだ。これだけは絶対守ってくれと。「約束して欲しいんだ。決して、乳がんについて調べたりしないこと。ネットで、代替療法などのことを知りたくて検索するだろうけど、乳癌そのものを検索しないこと。乳癌が気になって気になって、見つめてしまうから。」

「類は類を呼ぶ、見つめるものは引き寄せる」とか聞いたことがある？」
「病気のことをネットで検索して、調べて、悪いことばかり目につくと、治らないかもしれないと、勝手に意味づけしてしまって、逆に落ち込んで悪化する人が多いんだよ。『病は気から』って言うけど、治らないかもしれないという落ち込みは、体にストレートに影響するから、病名について、詳しく調べたりするなよ。」「治る方向にだけ、意識を持っていこう。治る方向に意識を向けていけば、治るために必要な情報が目について、良い情報が手に入るから。自分が関心があるものはよく目にするだろう。人は、気にすることに、よく目がいくもんだ」そう、妹に、諭したことを思い出した。実際、いくつかの治療法の情報を得て試してみる際、ネット検索したこともあったようですが、妹は、ずっと、乳癌について調べたことはなかったそうだ。(本人確認済み。医師の説明時も、動揺して頭に入っていなかったとのこと。未だに自分の癌の特徴などよく知らず。今更どうでもいいみたい)

妹から「完治宣言」の報告を受けて、今までのことを発信していこうと決めたとき、ならば、どんな特徴の癌だったのか知っておく必要があるかなと、病気説明書とかもあらためて広げて見ると、乳がんのタイプ「浸潤性小葉癌」の可能性大乳房の広範囲に小さな癌が散らばっている細胞診検査では 悪性疑い ClassIV

「浸潤性小葉癌」？（一年前ドクターから聞いたんだらうけど全然覚えてなかった）

今になって、自分で調べてみたのですが、乳がん全体の4～5%の頻度の珍しいタイプで、珍しい部位に転移を起こしやすく、多発しやすい、浸潤がんの特殊型

「え～！！ 珍しい乳がんが多発で、再発しやすい癌だなんて、知らなくてよかったねえ。

たぶん、どうしよう、どうしようと 気にして見つめていたよ」と、妹に軽く話し、このときは笑い話ですんだのだけれど。

私たちは、「癌」と聞くと、どうしても無意識に悪化をイメージして悪くなる未来像を想像してしまうと思う。でも、不安な思いは、悪いイメージを脳にどんどんつけてしまう。脳がイメージをしたら 体にそのまま伝えてしまう。

（心配事から、胃を痛めてしまうのは、この典型ですね）

なので、妹が、最後まで調べることなく意識しなかったことに本当によかったと思っている。

「たいしたことはない。未来の自分は治っている」という よいイメージが

身体を完治に向かわせた、大きな原動力であったと感じている。

癌や難病になったとき、それを検索して詳しく調べてしまい、悪化するイメージを抱いてしまって、本当に悪化してしまうケースが多いらしい。癌や難病になったときに、治る未来の自分をイメージしながら治る方法を探し、実行していくのは、ショックで心細くなっているのが難しいと思う。

そこを、いかに治る未来の自分を具体的に想像して、モチベーションを高めていくか。

妹も、癌と言われて、相当動揺し、落ち込んだ。今後どうなるんだらうと、どうしても、調べたくなつたらうけれども、

妹は、僕の言いつけを守って、悪い情報を目に入れず、「ガン 自然消滅」で検索して、治る情報に注目し続けたことに敬意を払いたいと思う。

手術をやらないと決断したその日から兄が色々なヒーリングをしてくれました。

でも、正直（こんなので病気が治ったら医者いらんじゃん！

なんだか胡散臭いし、大丈夫かな？）と思っていました。でも、兄の手から、私の体に伝わるものがあるのは確かだったのです。何これ？これがヒーリング？体がポカポカ温かくなってくる…

なんて思っていると、兄の口から

「お前、スゴく頑固だよ。素直じゃないな だからガンになるんだよ。」

はぁ？ 何？ いきなり！頑固？ 意味わかんない！ムかつくんですけど！

（後でわかったことですが ヒーリングをすると相手の状態がわかることがあるようです。

兄は私のエネルギーを読んでいたのでね。今は私も相手のエネルギーを読むことができるようになったのでわかります）

小さい頃から仲が良かったわけじゃない。子供の頃も、イジメられてた記憶の方が多気がする。

大人になってまでイジメるの？！兄の言うことを素直の聞けない私がありました。

（今思えば、頑固だったから聞けなかったんだよね。反省！）

「あ～、うざい！！」そう思うことも 何度もありました。

乳がんの手術を キャンセルして不安がないわけじゃない。どうしよう…本当にいいのかな。

いや、今すぐ死ぬわけじゃないし大丈夫だよ。

でも若いと進行が早いわって聞くと、今は転移してないけど、もし転移したら…

今、手術する方が生存率は高いかもしれない…

数ヵ月後に手術するなら今の方が良いかもしれない。手遅れになったらどうしよう。

息子を一人にすることなんて出来ない！

病院の先生は「生存率」って言うだけで「完治する」とは言ってないよね。

生存って、寝たきりでも生存というし、生存率って何？ 生きているだけで生存率ってこと？

寝たきりでも動けなくても、再発したらもう終わりって話も聞くし…

どっちが正しいのかわからない！

誰か教えて！どうしていいのかわかんない(泣) いろんな思いとの葛藤でした

葛藤の中で 兄が勧める ちあ魔法のホームページを入れてみて膨大な量の内容を見ていたら、

これまで見た夢が蘇ってきました。

「どうして早く教えてくれなかったの。今更遅いよ。」って言ってたよな。昔から予知夢みたいなものを見ることもあったし、何だか気になる。夢が現実になるのは避けたいし、どうしよう。

そんな時 兄貴が「前から見てみてよって勧めた、師匠のホームページ見てくれた？

どうだい、師匠の話を聞いてみる気はないかい？東京行ってみないか？」と言ってきた。

以前言われた時は勝手に決めないでよ」と、反発をしたけど、

再度兄に言われた時 不思議と「うん、いってみる」と 言えたのでした。

何度も 熱心に 背中を押してくれた兄に感謝です。葛藤はかなり ありました。

でも、今思うと、この決断が完治に繋がっていったと思えてしかたありません。

私の人生を大きく、変えたのでした。

兄

妹に、手術をやめるように説得するのは自信がなかった。

妹は「切って取ったって、ほかの臓器に支障はないんだから。その方がすっきりする。」と

気丈に笑って言っていて、そんな時は、もう決め込んだ時。

両親のことや三大治療は体に負担がかかる話しか聞いたことがなかったことから、

なんとか体に負担のかからない方法で治療して欲しい。

イメージ療法など、どう伝えるか？どうしたら、代替治療に目を向けてもらえるか？

正直、何でも相談しあえる兄妹とは言い難い、

何言っても「そんなんじゃ治るわけない」と言われそうと、実は、どう説得したのか そうとう悩んだのである。

師匠チア魔法に相談した際に、瞑想で遠隔をとアドバイスをいただいたことを思い出し、そうだ。瞑想だ。

事に当たる場合、瞑想で、欲しい結果をイメージしてから行うといいよと、教わったことを思い出す。

説得するイメージやってみよう。

瞑想前は、呼吸法(※)で落ち着こう。まず基本から

そして、妹の顔をイメージして、語りかける。

「まだ癌の大きさ小さいし、様子を見ようよ。切ったら、取り返しつかないよ。

もう二度も手術してるじゃない。腎臓は片方摘出してると、出産のときは帝王切開だったし。

今度は、もっと大きな傷を残すよ。体のバランス悪くなるし、体だけじゃいよ。

胸を取った人って、自分に自信を失ったりして不安定になる人もいると言うし。

すぐに倒れるってもんじゃないし。セカンドオピニオンもあるよ。

世の中、探せばもっといい治療もあるよ。助けになりたい。力になるから……」

思いつく限りの言葉を尽くしていると、

イメージしていた妹が、「じゃあ、手術は伸ばしてもらって様子を見る」と言ってくれたイメージが浮かんできた。いけるかも。

病院に行く前に会って話をする事ができた。

甲斐あってか、10日後の手術はキャンセルすることに同意してくれた。

しかしながら、病院とのやり取りで、5月の下旬から6月の下旬に手術の予約を

入れることになってしまったが、まずは一安心。8割がた、手術はもうしない方向に傾いているのを感じた。

そして本を数冊貸し与えた。妹への説得用に勉強したものだ。師匠から教えて頂いたものもある。

「これ読んでみてよ。手術はしなくても、治せる方法があるから。やってみて損はないよ」

そして、愛場師匠のHPを見てみるように勧めてみた。

体にいい情報いっぱいあるから、きっと治るって思えるようになるからと。

そして、後日、6月の手術予約もキャンセルを決めてくれた。手術をしない決断をしてくれたことにホッとしました。

妹に手術してほしくない理由が、両親のこと以外にもまだあったからです。

ガン、手術・放射線・抗がん剤の3大治療によって治っている方もいらっしゃると思います。

しかし、最近は、それを否定する医者もいらっしゃいますし、また、そういう本も多く出回っています。僕も両親の病状を見

てきたので、そこに共感していました。

特に、抗がん剤は、元々毒ガスだと健康道場の先生から聞いたことがありました。健康道場で断食をした時に教えてもらい、また、その手の記事を自分でも何かで読んだこともあり、化学療法の恐さが頭に残っていて、そんなものを妹にやらせたくなくなったのです。

そして、僕が手術を勧めなかったのには、もうひとつ大きな理由がありました。

妹の死を暗示するような夢をいくつも見たからでした。

病院のような建物に慌てて駆けつける夢、病院のようなところでベットに寝ている妹を眺めながら、何かできなかったんだろうかと言っている夢を。(このころ妹は妹で、亡くなった両親がよく夢に出てくる夢を見ていたと、後で話を聞くことになる)

そして恐る恐る このまま手術をして、抗がん剤治療や放射線治療を受けたらどうなるのか？

瞑想をしたら「死」という文字と「3年」という文字がイメージで浮かびあがってきたのでした。

やっぱり 夢は、何かを知らせようとしているのかもしれない。

また肉親を失うかもしれない。妹の息子である甥はまだ二十歳にもなっていない。僕以上に悲しむだろう。胸が痛い。

息苦しさを覚える。焦りと何とかならないのかという思いで、胸がつぶれる感じをこのとき覚えたのでした。

瞑想で、このまま癌の手術をした妹はどうなるんだろうと 探っていきました。

妹は、今のままでは、近い将来 死ぬ可能性が高いというのが心に、浮かび上がってきたとき、

じゃあ 僕が学んでいるセルフヒーリング(レイキヒーリングのバージョンアップのヒエラルギ)、

イメージ療法、呼吸法、そしてマインドチェンジなどこれらを妹が取り入れてくれたら どうなるだろう？

瞑想をしたら「治る・よくなる」と言うイメージが浮かびあがってきたのでした。

(もちろん、本人が本気で取り組んでくれたらの場合だったのだけれど)

手術しなくても治るかもと実感が湧いてくると、やはり、手術をしてもらいたくないと言う思いが強くなりました。

ヒーリングとか、イメージ療法とかいっても、やってみようと思ってくれるだろうか？

直接 顔を合わせて話すよりも、まずは、瞑想で説得をやってみよう頑張ったのでした。

説得の瞑想開始

実は、僕が妹に「手術をしないで、他の治療法も探っていこうよ ect」と、瞑想で説得している間に、妹は、自分が手術を受けた後、病院のベッドで死ぬ夢を見たそうなのです。

死亡宣告を受けた自分を困んで、ベッドの傍でたたずんでいる僕と息子の二人と、そして自分の身体を、宙に浮かんだ

視線で上から眺めている夢だったと。

ある意味、この夢が手術しないと決める一因にもなったようでした。

瞑想で説得すると 相手の心の奥底とつながるため普通に喋って説得をするよりも

意図が伝わりやすいため 聴いてくれる可能性が高くなると教わったので。それにかけてみたのです。

瞑想は得意と言えるほどではないため、必死で頑張ってみたのです。

今にして思えば、この瞑想が思いのほか 役に立った。これも、妹が手術を取りやめてくれた一つの要因だったと確信しています。瞑想の初級は呼吸法から始まりますが

健康増進から、だんだん上達していくと、相手の幸せを祈る、健康を祈る、といったことまで幅が広がります。家族の病気の方がいる人などは 強いツールになるのではないかと、僕はそう信じています。

瞑想での説得が功を奏したのか、妹が手術の取りやめてくれた。

そして、東京まで出向き、師匠のセミナーを受けてみたいと言ってくれたので、

その報告をかねて、師匠に今後のことを相談した時、

「『治ったらやりたいこと』を書き出してもらってみて」そう言われたのです。

まず、本人に「癌を治すぞ！」という気持ちを持ってもらうためだという。

「これね、エネルギーが低いと書き出しできないから部屋をきれいにして、呼吸法で部屋の浄化をしてからやるといいよ。

付き添ってあげてね。下手すると、本人 逃げようとするから。」

治ったらやりたいことが 描けない人が実は多いらしい。

書き出しを投げ出す(逃げる)人もいるそうである。

「良くなった未来を描けないから治らない」という図になるのかもしれないが

ただ、書き出しするのではなく、モチベーションが上がるように書き出しすることがポイントだそうで、これを書いたら、(やりたいことを未来に描いたら)何が何でも治らないと

という意識に切り替えることが目的なのだそうである。

書き方のコツは

今現在の 癌である という時間の延長線上に、未来を作らないということだった。

「治らない」

「治るはずがない」

そういった固定観念を突破らって 「癌が治った」前提で書いてみる。

「もしも 願いが叶うなら」と思って書いてもいい。

とにかく 治らないという常識や周りの声を シャットアウトして書く事が一番。

そのために 誰かがそばで、見てあげないといけない。

一人じゃ 出来るわけがないという思いに負けちゃうらしいのだ。

治らない磁場が出来上がっている家(場所)で書くよりも草原とか 木々が生い茂っている気持ちのいい場所で書いたほうがいいらしいのだが、まずは、妹を我が家に呼んで、書き出しをしてもらうことにしたのです。

モチベーションを上げて取り組むことが大事だということで

治ったらやりたいこと書き出しを家に呼んでやってもらったのだが、

予想通りというか、やっぱりというか、書けない。

○温泉旅行に行きたい

○出雲大社に行ってみたい

○家をかたずける

○ダイエットする ect・・・

「うーん・・・これかいて 何が何でも治りたいと思う？」妹に聞いてみた

「うん、たぶん 思うよ」

「書き出したこれって、今でもやろうと思えばできるじゃん。それじゃだめなんだってば」

「なんでよ！！」

「治ってからじゃないとやれないこと、ワクワクすること。

そこにフォーカスして、書き出してみよ」

「これやりたいもん！！」

「だからさああ！」

東京で、師匠のセミナーを受ける前に、できれば妹の治りたいというモチベーション挙げておきたい。意気消沈のまま、やる気がある状態でセミナー受けるのは、その効果に雲泥の差が出るし。思いは空回り？してしまうのか、なぜかしらお互いの物言いがヒートアップしてぶつかる、ぶつかる。半ば、喧嘩しながらのこの書き出しは、東京に行く前、セミナー時、受講後、帰ってきてからも書き出しをやりました・

実際に 師匠に手伝ってもらって書き出しをやっていくことになるのですが、
なんだかんだぶつかって結構、大変でした。今は笑えます。

師匠のチア魔女に瞑想をしてもらった

ちあ「えっと 名前は？ 生年月日は？」

瞑想だと相手の状態を捉えることができるそうで

「頑固だねえ、うーん、本人の意識がどこまで変わるかがカギだね」

「うーん、お兄さんのいうこと聞かないからなあ。」(そう、反発ばかりしてます(心の声))

「何か変わるきっかけがあるといいけど。 祈りの力は強力だから ここ一カ月頑張って妹さんのために祈りの瞑想を試したら思いが届くかと思うよ。この間大変だけど やってみてください。」と言われた。

祈りの瞑想。僕の愛にかかっているという難題な課題！？

癌の治癒は、本人の意識、そして家族の愛が 大事なんだそうだ

毎日 妹のために瞑想をした。癌が完治して、笑顔でいる妹をイメージした。

活動的に動き回っている妹をイメージした。

東京で、師匠のセミナーを受けてほしいな。方法はいくつかあるんだ。取り組んでほしいな。

どうか、信じて欲しいな・・・

そして少しずつであるが、頑なな妹が、だんだん話を聞いてくれるようになっていった。

「妹を東京に連れてきます。セミナー受けてもらえるように話してみます。」

ちあ「来るならいいけど、これかなあ」

「首に縄をつけてでも連れて行きます」

ちあ「無理なくていいから、まあ、これなら私からも話すけど、遠いからね。セミナー無理に受けさせなくていいから」

ともいわれた。本人が乗り気でないのに無理やり来ても効果は少ないからとのことだった。

そう言ってはいただいたもの、

何とかエネルギー伝授とセミナーを受けて欲しかったので瞑想で、東京にいつかみようと説得を始めたのでした。

おそらく、たぶん、きっと兄貴は 宗教ではないらしいが何やら 不可解な事をやっている そう思っているのは知っていました。(以前 生前の母とそんなことを話しているのを聞いたことがありまして)

でも、素直にヒーリングは受けてくれていたので、師匠から習ったことを、ぽつぽつ話しながら、興味を持ってもらえるように、
いろんな事例や、読んだ本の内容を話して聞かせるのですが、

なんか、上の空と言うか、そっけない態度に、イライラし、何で聞いてくれないの？と焦りも募っていきました。
ヒーリングしながら、なんか、エネルギーが通りにくさを感じる。
妹が、何か固いものに覆われているというか、何かに凝り固まった感覚を覚える。
見たいものしか見ない。信じたいものしか信じない。
あえて言葉にすると、そんな感じをふっと受けた。

イライラと焦りついでに、思わず口についてしまった。

「お前、すごく頑固だね。素直じゃないな。だからガンになるんだよ。」

「あんたに言われたくない！！」

どういうわけだか、ぶつかること多かったな。

ぶつかりながらも、お互いがお互いにムカつきながらも、妹は、僕に時間があれば、ヒーリングを受けに来てくれました。

そんな中、気づいたことがありました。身体が、全身に力を入れていて、緊張している。

これでは、身体が休まることはない。悲鳴を上げている感じだった。

何度「力を抜いてみて」と言っても、身体中に力を入れているのが全く自覚してないらしく、

「力なんか入れてない！」と何度となく言われ、

呼吸法が身体の緊張を解くからと、師匠のHPも見るように勧めてみました。

そして、

そして少しずつであるが、頑なな妹が、だんだん話を聞いてくれるようになっていった。

頃合いを見て、「東京に行って、セミナーを受けてみないか」と誘い水。

一度は、「そんなこと勝手に決めないでよ！」と反発されたものの

どういう心境の変化かどうかわからないが、

東京まで出向き、師匠のセミナーを受けてみたいと言ってくれたので

正直ほっとしたのです。セミナー会場に向かう道すがら、

ちょっと表情が硬い。まだ、ヒーリングって胡散臭いって思ってるんだろうか？

変な人の集まりだって思ってきたんだろうか？

心の葛藤が出てくる

(お前の兄は、ヒーリングのセミナー何度も受けてんだぞ！

気功の簡単なもので、ハンドパワーを身につけて健康をキープするのが怪しいのかなあ、

医者に依存しない生き方は、妹からは怪しいと映るのかもしれないのかな？)

僕は、かつて、どこの病院を回っても治らなかったパニック障害を、自分で治した経験から、医者には依存せず、出来ることは自分でやって、自分の体は自分で守ろうと思っているので、妹も試みて欲しいんだがと思っていた。

自分と違う価値観を否定するのかもしれない。でも、まずは一度試してみても何のリスクもない。

ここで 否定し続けることもできるが、彼女は最初は未知なものに疑いながらも、一歩動いてくれたおかげで、妹自身気づきがあり、治癒の方向へ向かっていったのだと、完治した今は、そう思っている。

飛行機乗って 東京…来ちゃった！セミナー会場に向かう道すがら

「何も緊張なくていいからね。再受講に来ている人もいるけど、皆いい人たちだよ。」

と兄が妙に優しい。(余計 怪しい気がするのはなぜ!?・・・)

チャ魔女のセミナールームへ到着。変に気合が入ったままドアを開けました。

私「初めまして。よろしくお願ひします。」

皆「こんにちは。こちらこそ お願ひします ♪」

少し身構えつつも(怖い顔してたかも)ちあ魔女にもご挨拶。

なあんだ 普通の人じゃん。もっと怪しい感じの人だと思ってた(笑)

でも、でも…

何？この部屋の空気(磁場?)何か違う気がする…

それに、初対面の人って打ち解けるのに時間かかったりするけど、

ここに来ている人たちって(再受講に来てるって言ってたっけ?) 壁がない!(いい意味で気を使ってない)

居心地がいいかも。ちょっと気が抜けちゃった。

セミナーが始まった。どんな話が聞けるんだろう。自分でもできる事かな?

期待と不安が渦巻く中、予想だにしないことから始まるとは!

「お兄さんから話は聞いてるけど、本気で、癌を治したい? 治したくない?」

「え?」

「治したいのなら、癌を治します。癌は治る。と自分自身に宣言してくれる。?」

(もちろん)「私は、癌を治して健康になります。」

なぜ、意思を確認するようなことを言うのか、その時は分からなかったけれど、

セミナーの話が進むにつれ、まず「決めること」ということが大事なんだと知らされるのでした。

(その後は、兄から話を聞いてたはずだけど、

特に、ちあ魔女は手術するなども、しなさいとも言われなかった。

でもセミナーでの講義内容を聞いているうち、自分のなかの自然治癒力が動き出してる? 癌を治してくれる? そんな直感が湧いてきました。

セミナーは、結構、初めて聞くことだらけで、講義で聞いたことは目からうろこでした。

健康脳と病気脳がある。え? そうなの?

健康脳って?

「年をとっても元気で若々しい。足腰丈夫」と決める事。

単に決めるのではなく 心の奥に落とし込むんだそうです。

たったそれだけなの? 本当にそんなことでいいの? 落とし込む??? ただ この簡単な事が出来ない…

年をとったら病気になるものだと 周りにいわれて マイナスのインプットをしている人が多いそうです。

「自分の体は自分で作る。私は健康になって長生きをする。長生きをして充実した人生を送る」と決めることだった。

決める事って大事なんだ!

途中、セミナールームに下りてきた ちあ魔女のお母さんは

「これからスポーツクラブに行ってくるわね」と出かけていきました。

とっても元気なお母さんで、70代でホノルルマラソン走ったり 80歳でカヌーをしたり ピアスをしたり、しょっちゅう旅行にいつているそうで、とても楽しそうでした。ああ、健康脳って生き生きしているんだ。

そして、若さの秘訣は好奇心なんだと思い知らされました。

僕「何も緊張しなくていいからね。再受講に来ている人もいるけど、皆いい人たちだよ。」

妹の表情は硬いまま、セミナールームに到着し、セミナーが始まる。

自分でも、ドキドキしながら見守ることになった。
セミナー中盤、妹のエネルギー伝授では、
ちあ「身体がガチガチ。身体中に力が入っている。
特に肩に力が入りすぎている。これじゃあ癌にもなるわね。」(そうでしょう！)
妹は「そんなことありません」と 言い張っていた。(いやいや！おいおい！)
わわわ、、、頑固だ。僕が見たってガチガチなのがわかるのに。
これまでも、何度かリラックスすると妹に言い聞かせたのですが、妹自身できず
僕自身も、ガチガチな身体を何をやってもほぐせなかったのです。
ちあ「先にほぐすね。これねえ。ちょっとこのアロマベットに寝てみてくれる？」
そういって妹を寝かすと、整体で首を整え始めた。
ちあ「ちょっと痛いけど、我慢できなかつたら言ってね」
妹「痛い～、痛い～！いっ痛いいい！！」(凝り固まっているんだから、さぞ痛かろう)
数分、首・肩を引っ張ること数分。
ちあ「これで身体がほぐれたからエネルギー伝授できると思うよ。」
僕「そうですか。僕も何度かレイキのエネルギー伝授はしたんですが。」
ちあ「これだけガチガチだと、中々エネルギーが通らないんだよね。」
改めて、リラックスすることの重要性を認識した瞬間でした。
身体を常時緊張させているのは、病気の元。
妹「あれ、肩が軽い 嘘みたい」
妹は肩ががちがち過ぎて、自分が凝り固まっている事すら気付かなかった
リラックスできていなかったということにやっと気づいたようだった。
(僕が指摘しても、そんなことないって、反発していたくせに)
自分の事は気付かない。
妹はリラックスが 健康にとっても大事だということにやっと気付いたようだった。
よかったああ。気付いたら 変わる。僕は安堵した。
こうして、ヒエラルギエネルギー伝授が始まった。(兄)

心の法則 の説明 愛場千晶より

心には法則があるといわれています。その一つに
過去経験した事 ショックな出来事は心に強く焼き付いてしまう、というのがあります。
もちろん超うれしいことも焼きつきます。強い感情を伴ったものが 心に強く焼きつくという法則があります。
たとえば、加陽子さんの場合は
両親が癌で亡くなった。抗がん剤やら放射線やら 癌の怖さを見てきた。
お医者さんと話したりして 嫌な思いをいっぱいしたとおもう。隣のベットの人が翌日はいなくなっている、
これを見るたびに心が痛んだそうです。それが、癌は嫌だ。癌は怖い。癌は死ぬ という思いが次第に強くなっていった。
身近で見ていたので 強い強い感情になっていったとおもうのですね。
癌を強く嫌うと それを引き寄せてしまうのです。嫌うと人生にそれを呼び込むという という法則でブーメランのように自分
が出した思考が自分のところに戻ってくると言われています。
潜在意識と言って無意識の話になるのですが潜在意識は他人と自分を区別しません
だから 癌を嫌うと 「癌は嫌い、怖い」が焼き付き自分が癌になってしまうのです。

その時に親と私は違うぞと意識をしてシッカリ、(シッカリがポイント)分けておくと引き寄せないのですが、加陽子さんにそういう知識がなかったので 身体に弱さと 親の介護で見ていたから引き寄せてしまった可能性があります。

先ず、心の法則があるんだと 認識して 法則を理解して さらに「心身ともに健康で元気に生きるんだ」と

心に焼きつけて 健康になる方法があります。100歳まで元気に生きるんだと決めつついいんだとも いわれています。これが心の奥底に焼きついて根付くまでには個人差があります。

素直な人は早いですが 頑固な人は時間がかかります。その場合は根気強く焼きつける必要があります。

疑いや常識をどけて 素直に心に焼きつける。

毎日毎日 唱えて焼きつけても OK です。とにかく健康を心に焼きつけること大事です」

私はがんの専門家ではありません。癌よりも自己免疫疾患の受講生が多くて治っている実績も多いですがガンはあまり受け付けていません。気功やヒーリングなどは抗がん剤を打ってしまうと免疫が落ちるため治りにくいとも言われているので、抗がん剤をうった方とかはやらないほうがいいよ。治りにくいからといわれているので、あまり、お引き受けしてないのも理由かもしれません。ガンの専門家ではないですが、そのうえでコメントをさせていただきます。

誰だって癌は嫌いですよ。でもね、強く嫌ってばかりいないで、

それ以上に「自分は癌にはならないから大丈夫」と 心の奥に焼きつける事なんですね。

健康情報を知っているから大丈夫、とかね、

これをしっかりおこない 心の奥に焼き付けたら いいんだよと 師から教わりました。

心に焼き付けてみてください。焼き付けたところでリスクがあるわけではないので やってみてくださいね。

付属の音声ファイルを使っていただくと いいですね、)

そして病気の方は 自分で治す決断すること、がカギになります。

小さいお子さんが病気の場合はご両親の愛がカギになります。

決断については バセドウ病をご自身で治された加藤えりさんがブログにありますので抜粋させていただきますと

ちあ魔女の最初の言葉は

「本気で治すなら 治る決断をしてください自分自身にいうんですよ。

自分の内側に向かっていってください。」と

この自分で治す決断が すごく重要だとのことだった。

「治したい、治りたいでは 決断ではなく願望。願望は達成しない人も多くいるでしょう、。

そうじゃないの。コミットメントなのよ」

私「コミットメント。。。」

その時はまだわからなかった。脳は騙される。コミットメントすると 治すんだと 治すモードになるんだそうです。

自分の内側に向かっていう。あまり力んではいけない、リラックスをしていう。

肩が凝っている人はまずは肩を楽にする、リラックスをしてからいう

リラックスができないときは コミットメントをしても脳に届きにくい。

さらに、治るわけない というブロックをはずしていう

医者が治らないというとなおるわけないというおもしろい気づき

その思いを持ったまま コミットしても 本当の意味での決断。コミットはできていない。
意外と コミット 決断が 難しい。
治すぞと決めることが こんなに難しいとは思わなかった。

コミットとは

医者が何と言おうと 前例がなかろうと それらをいったんどけて 決めることなのです

もしも前例がなかったら 治った人はどこかにいる
世界中探したら何名かいる その中に私も入るぞ
もしもいなかったら私が 一番先に完治した人間になってもいいそのぐらいの思いです

決断

治りたい～ でも 治ったらいいな～でもない「何が何でも治るんだ」
という執念とも呼べる 決意が完治になる
そう ちあ魔女から聞いた時にびんたをされた思いだった。
私は治りたいと思ったけどそこまで決断しきれていなかった
治るってどんな事したらいいの？

さあ どうしよう どうしよう

ここで決断をしないとばかだよね、そうおもいながらも決断できない自分がいた
薬を飲まなくて本当に大丈夫？どうしよう どうしよう のループに頭がグルグルした
自分は本気で治したいんだろうか？
決まってるじゃない！ 健康な体になりたいに決まってる！
薬もいらない 健康で元気な自分になる！
でも 治らなかったらどうしよう 悪化したらどうしよう いやいや
マイナスループにはまっているそれが決断できていないってことだと。

ちあ「私は薬をやめなさいとはいっていないし、すぐに病院をやめなさいともいってないってば、
ただ決断しなさいと言っただけですよ」
「まず いろんなことはどけておいて ただ 素直に治す決断をしたらいいんだよ」

治りたいとは違うよ 何が何でも治すぞ

自分で治すぞという決断ですよ ちあ魔女はそういった。
その言葉が胸にくる 何度も繰り返す 今思うとおかしいけど 健康の決断ができないのでした

決断「健康になる決断をします。」

ちあ「今のいい方だめです。 外側にいってます。内側にいうのよ」

私「内側って」

ちあ「自分自身にいうの。私に宣言したってしょうがないでしょうに。自分自身にいうんですよ。」

治すのは自分ですから自分で自分の心にいうの、速さはゆっくり目にしてみてください。ハートが反応する速さって
あるのですよ。言葉はいいやすいいい方でいいですから」

治りたい でも 治ったらいいなでもない

「何が何でも治るんだ」という執念とも呼べる 決意が完治になる 私に足りないのは「何が何でも！」の思いだった。

完治決断をしたときに不思議とずっと 身体にしみこんでいきがした。
そして自分にセルフヒーリング 呼吸法 シオ風呂で体を温める
ちあ魔女オリジナル誘導を毎日聞く瞑想で答をもらう。などをやりました。

次第に自分の体の声が聞こえるようになりました。
何となくですが 今日には疲れてるから 早目に安もうとか家事は少し手を抜こうといったことがわかってきました。
そしてさらに 自分の体の声を聞くことをしていきました。
無理しないでいると 身体は次第に楽になって行きました。
呼吸法は 強力でした。不安が消えます。吐くときに意識をしながら行います。
長ーい息は 長生きになるそうなので 継続してやってみました。」

なんとなくわかりましたか？
決断 この決断ができると 治るモードになるので多くの人は感覚でわかるそうです。
自己否定をしている人は「私は健康になることを許可します。」といったことを自分に向かっていていただきました。
自己否定をしているから私なんて死んじゃえばいいそう思っていて病気になったそうです。それではだめだよ、
先ずね生きていんだよ。元気になっていいんだよと自分で自分に許可をしてあげないと という話から始めました。
宣言の言葉は人によって違いますが ハートが喜ぶいい方でいうことがカギになります。

自己否定といっても 自己否定をしていることも気付かない人がいます。だから 厄介なのですが。
加陽子さんも最初は「そんなことないもん」とお兄さんに反発し続けたそうです。
癌になる人が皆頑固で自己否定しているわけ？たまたまなったのよ。」そういつづけていたそうです。
もちろん癌になる人がすべて頑固ではないのですが、
癌は老化するとなるといわれていますが、70代よりも若い人の癌は体と頭が固い人が多いのは確かなようです。
そして、加陽子さんは 治ったときに、ああ私は頑固だったんだな。体はがちがちで冷えていて頭痛持ちで 体力なくて
それじゃあ癌にもなるだろうなと 治った時に実感したそうです。 皆自分の事は気付けない。
だから 気付かしてくれるいい友人(加陽子さんのように いい兄貴)が 完治のポイントになるのですね。
ならないように 運動をする、体と頭を柔らかくする。体温を高く保つ(体を温めるものを食べる)をしているといいですね、

病気を遠ざける心の法則

私、愛場千晶は若い頃腰痛に悩まされていた。身長 166センチという長身なのに
10センチハイヒールを履く仕事をしていたせいか 周りは腰痛持ちが多かった。
20代前半で腰痛もち、そして周りを見ると30歳の先輩は腰痛で手術をした人も多くいた
このままでは自分もそうになってしまうかも、そう恐怖を覚えたのは25歳ぐらいだった。
そんな時 ハンドパワーを身につけるセミナーがあっけいって見た。
習ったテクニックを身につけて自分の腰に手を当てたら翌日 腰痛がなくなった。

色々なハンドパワーのセミナーなどに出てその秘密を探っていった。ハンドパワーのセミナーはいいものも そうでないものも
あった。中には霊能者と呼ばれる人から直接教えてもらったものもいくつかあった。
これはすごいという霊能者にも出会った。どんな病気も 90%治すんだという人にもあった。

弟子にしてやるといわれ色々教えてもらった。どういうわけかそういう人達に出会って教えてもらった 20 代のころヒーリングやるなんて言ってないのに、やれといわれる、インドに行ったら君は向いてますよとかってに聖者にいわれる。当時は私もそんなにいやーと 思ったのですが それとは裏腹に ヒーリングをしなさいとばかりに 色々な経験をさせられることになる。そうこうするうちに私のヒーリング力も上がっていった。

当時は晴海のコンパニオン(今は幕張などになってますが)の仕事をやめヒーリングにのめり込み、セミナー会社でハンドヒーリングを教えていたのですが パワーが上がったなどわかった瞬間が何度かあった。当時はハンドパワーが面白くて 皆に手を当てて回っていたのですがすぐに反応をする人も出てきたり、手がうごかなくて手術しないといけないの、と言っていた人が飲み屋でちょっと手を触ってあげただけで手が動いて手術が不要になったと喜ばれた。このような事が頻繁におこり出したからだ。

ただ、手を当てたらどうして病気が治るのかという 答えは出なかった。瞑想を習った時にその秘密がわかった。心に秘密の扉が開いた瞬間だった。瞑想は用法を選ぶよりも師を選ぶんだよということを後で知ったのですが凄い師に出会えたことで いろいろと教えていただきました。今もその習ったことは私の心に刻んでいます。

「心にはすごい力があるんですよ。病気を治したりもできます。癌を治した人もいますし、難病を自分で治した人もいます。人間関係をよくするのにも いじめの対策だってできるしもちろん願望達成にも使えます。」

師の山田孝男先生は教えてくれた。いらい10年にわたって東京から2時間かけて 山梨まで瞑想を習いに通った。

瞑想の受講生の中では実際に末期がんを白い光をつかって治した方もいた。

今から15年以上も前に そんな人たちがいっぱいいたのを見てきた。心が病気を治すんだ。自分の思いなんだとすとんと落ちて行った。そしてそれを伝えていくと 自分で病気を治す人たちが出てきた。

私はほんのひと押しをするだけ、治すのは本人なのだから

病気の方はまず決断をしてみてください、

この時きまないこと・肩に力が入っていると逆効果になってしまいます。

基本のリラックス(呼吸法でリラックスができます)をしたうえで シッカリ決断

誰になんと言われようが動じない決断 100%コミットメントを試みる

コミットメントができてくると 治るための情報が入ってきます。

本当に 本当に何が何でも 治りたい。治るためなら何でもする。といった強い強い決断 是非してみてください。

そして心配しない事 心配は呪いの念だと私は師から習いました、心配すると心配事を引き寄せるからです。

健康に関して心配すると病気になる、悪化しないかと心配すると悪化する。

子供が友達ができるんだろうかいじめられないだろうか心配するといじめにあう

うちの子は大丈夫と子供を信頼してあげたらいじめにあいにくくなる、

夫が浮気しないだろうか心配すると浮気をするようになる

彼は私だけを愛してくれと心の奥まで落とし込めたら 家庭を大事にする夫になるという法則です。

門広美さんがブログに書いてくれていますが <http://ameblo.jp/hiromi-arigatou/entry-11822889771.html>

「こういう心の法則 を知らないでいたら、大切な娘を病弱な、薬漬けの生活にしまうところでした。

おかげさまで今ではとっても元気で、病院や薬とも縁遠い毎日を送っています。

「元気になったら、あんなことしようね！ここに行こう！」と

楽しいことを想像させるような話をすると良いかと思います。

早く元気になって、家族でお出かけしたり遊んだり。楽しいことをイメージすると、本当に回復が早くなっていきますよ。

子供は素直ですから、まずは安心させてそれから元気になるぞ！と思わせるのがポイントです。
そして、親自身が「この子は、きっと良くなる！ 大丈夫！」と心の底から信じてあげることが、最大のポイントですね。」

過度に不安を持たない事も ポイントになります。

そうはいつでも病気だと どうしても悪化したらどうしようという思いが
大きくなってしまふので 大丈夫だよと応援してくれる仲間の存在が 大事になります。

DNA が？ 変わった感覚があった。

エネルギー伝授を受けたのですが、(ちょっとドキドキしました))エネルギー伝授は
ちあ「今からエネルギー伝授するからね」
椅子に座り、軽く目を閉じてリラックスしていると、ちあ魔女の手から伝わってくるものがありました。
心地いい暖かさ、何だかほっとする・・・心地の良さに身を任せていると、何かが見えてきた。
あれ？ これ何？ 教科書で見たことのあるような・・・
DNAかな？ 緑、赤色に見えて、らせん状につながっているようなものが見える。
見ていると、2本だったDNA がもう1本増え 3本になりました。
らせん状に赤(三角)、緑(四角)、白(細長い長方形)が組み合わさり、
増えたもう1本は とても太い感じがしました
え～！！DNA 増えてきた(驚)何、何、これ何なの？ 不思議
次は 増えた1本の断面図がレントゲン写真のように見え、中身が詰まって見えました。
今まで頼りなくて細かったDNAの線が、ふとくて1本多くなっているイメージで、
何だか綱引きの綱みたいな感じでした。
ちあ魔女からエネルギー伝授を受けている間に見た不思議なビジョンでした。エネルギー伝授が終わったとたん、
「すごいすごい、DNAが書き変わっている感じがしました」って叫んじゃった！

さらに、初めてだったんですが、プチ瞑想の指導を受けました。そこでも不思議な体験をしました。
白い光に包まれている感覚で瞑想初心者の私で、なんて表現していいかわからないのですが、
白い光の世界そのものと言うか存在というか、を感じました。
そして、これもまたどう言葉にしていいいかわからないのですが、
守られている。愛一杯の 大きなものに守られている。
自分の力を信じたら、癌は治る！ そんな想いが湧いてきたんです。
エネルギー伝授でDNA が、組み変わり生まれ変わった感覚が、余韻でありました
それを話すと、 これを感じると 守られてる感覚がわき 奇跡が起こる事が多々ありますよ と
ちあ魔女からアドバイスをもらいました。よっしゃー $v(=^0^=)v$
自分の力を 自然治癒力を信じてみようと思いました
エネルギー伝授は身体に体験したことのない不思議な感覚で
体の中から暖かさがこみ上げてくるものを感じていました。
本当になぜだかわからないんですけど、気づいたら泣いてました。ポロポロ泣いていました。
私は身体を自分でポロポロにしていたんだと きがついた。懺悔の涙なんだろうか？
それとも、、、なんの涙かはわからない でもとどめもなく 涙がでました。
(今振り返ると、エネルギー伝授で人生が変わった転機だったと思います)

さらに 自分に「ありがとうを言って」と、ちあ魔女に言われて 素直にやってみました。
文章にすると伝わらないのですが、
内側に意識をしてというのがコツだよと教わりながらやってみました。
声のトーンやスピードを教わり感覚をつかみました。
最初はなかなか 感覚がつかめなくて、(自分に感謝って難しい)
何度もやり直し(スパルタ?)させられてやっと 感覚がわかりました。
すると、また涙がこみ上げてきて 止まらなくなったんです。
身体にたまっていたものが、融けて流れていく感じでした。
身体中にほっとする感じを体験した時に、身体が軽くなっていたと思います。
「セミナーでエネルギー伝授を受けてDNA が強力になった。さらに身体も軽くなった。

兄コメント

エネルギー伝授を受けていた妹の目から、涙が流れていました。
これまで、エネルギー伝授を受けて涙を流している人を見てきましたが、
ほとんどの人が、そのエネルギーに触れて、暖かさ・優しさ・安心感などに包まれ、
感動したことによる涙がほとんどでした。
妹の心の琴線に触れた。これは大きく変わるぞ！そう感じた瞬間でした。
エネルギー伝授では、DNA が 2 本から 3 本に組み変わるイメージを見たと言うことに、
癌になった身体が良い方に変わる そんな思いに包まれたのでした。
「瞑想でDNA が変わるエネルギー伝授を教わったと言って 僕たちにちあ魔女がいていたのを思い出した、
妹は何も言ってないのに、それをキャッチしていたんだろう。

自分に「ありがとう」を言うワークでは、泣きながら言っている妹を見て、
ありがとうという言葉が、ここまで心に沁みわたるものかと(場所の磁場もあるのだけれど)
感じながら、在りし日の母を思い出していました。
病状の悪化してきた母が、苦しいばかりの自分の身体に文句を言っていた時、
母にお願いしたことがありました。
「ねえ、母ちゃんは、文句ばかり言うてくる人の為に頑張ろうと思う？ 身体も同じだと思よ。
自分にありがとうって言ってみようよ。」
そんなことが何になる？という表情がありありでしたけれど、
一緒にありがとうを言ってくれました。
母の背中に手を当て、光を送るイメージをしながら、母と一緒に「ありがとう」を言っていると
5分もたたずに、母は号泣したのでした。
「どうしたの？」と尋ねると、
「これまで生まれてこの方、自分に『ありがとう』なんて言ったことがなかった。
周りにも、自分にも文句ばかりで。誰も言ってくれなかった。」
母は、しばらく嗚咽が止まりませんでした。
母の人生に思いをはせながら、どれだけ「ありがとう」という言葉が、
母の心に自分自身をいつくむ感動がどのくらいの大きさだったのだろうか。と
感慨深いのがあったことを覚えている。

それからは、表情が穏やかであったことも。「ありがとう」と言う言葉は深い。
妹には、どんな感動があったのだろうか。

もう一つ別な驚きがあった。

妹がDNAが組み変わるというビジョンを見たという驚きの話とともに、
エネルギー伝授中、ちあ魔女が「『ごめんね。ごめんね。』と言う声が聞こえたの」と言う話を後から聞いて、妹と二人顔を見合わせながら、「母です。それ。」と口についていた。
ヒーリングモードのちあ魔女は 普段と違いスイッチが入ったようにサイキックになることがあるらしい、お婆ちゃんがサイキックだった遺伝と瞑想のせいだといっていた、普段はいらぬ力なので
スイッチ切ってるんだけど、ヒーリングモードになると勝手にスイッチが入るらしい。

母の闘病生活では、妹が中心になって母の世話をしている、世話をかけたのに、癌をずっと癌を意識させて、癌にまでしてしまっ。ごめんね。ごめんね。って話してきたのかも。と妹も同時に思ったとのこと。
不思議なことと普段なら思うことも、ここでは当たり前空間かなと思うほどの磁場感覚でした
終わってみれば、あれほど抵抗していた妹がここまで来て、身体の硬さや(特に肩こり)
心の硬さ(頑固さ)が見事に溶けて行った感動の二日間のヒエラルギセミナーだった。
見えない力を味方にして完治に向かうと確信した瞬間でもあった。

自分自身を否定していることに気がついていなくて。

自分を認めよう。そして泣きながら加陽子ちゃんありがとう を言いまくっていました。

「ありがとう」でこんなに涙が出るとは、思いもよませんでした。

自分の体にありがとうを言ったら涙が止まらなくなりました。

身体に感謝したことなんてなかった。反省でした。体を酷使したら癌にもなるよ。うん。

胸さんごめんね。これから自分をもっともっと大事にするよ。

心声を聞いて 行動するよ。気づきをもらいました。感謝です。

泣き終わったら やけにすっきりしました。身体中の毒素が一気に流れ出た感じでした。

セミナー受講 二日後。肩がずいぶん軽くなってる～！

自分が肩こり・頭痛持ちだったので、それが当たり前だと思ってました。

肩はいつも重くてパンパンでした。最近は歳のせいかも…なんて思ったりもしていました。

え?? 普通の人ってこんなに肩が軽いのか? それじゃあ 私、病気になってもおかしくないかも。

肩こり 頭痛 冷え性 当たり前でした。これじゃあ いけない。この積み重ねで身体にガタがきた。

そして、両親が癌になり、癌の怖さが焼き付いて、それを引き寄せてしまった。

マイナスの引き寄せをしていたことが判明!

ちあ「この力を逆に使って+を引き寄せたらいいだけなんだよ」

「+(プラス)を呼びこむ。まずは健康ね。」

そう言って、イメージでガンを克服した人の話をしてくれました。

「私はよくなっていく」とイメージしてガンを克服

カリフォルニアに住む62歳の乳がんの女性は、毎週スタンフォード大学病院の援助プログラムに参加しています。ここでは医学が与えられないものを与えてくれるといいます。彼女が言うには、それは『喜び』です。彼女は6年前、乳がんが肋骨と脳、リンパ節に転移し、一年の生存は無理と宣告されました。それを聞いた彼女は、いすを蹴とばし医師に向か

って「クソくらえ！ 私がガンになるわけないでしょ！」と言って、怒って病院を出ていきました。
彼女は診断を無視し、「私はよくなっていく」と唱え、よくなった元気な自分を繰り返しイメージし、がんを克服できたのは、自分の精神力と家族や友人たちの思いやりと支えのおかげだった」と彼女は断言しています。
うーん。イメージひとつで健康にも病気にもなるんだあ。
人の思考ってなんてすごい力を持つてるの！

「病を癒やすために必要なのは、生命エネルギーを全身に隈無く行き渡らせることなのです。 そのためには、恐れ、心配、
気苦労、不安、嫉妬、憎悪、その他の破壊的思考を排除しなければなりません。

それらの思考は、有毒な廃棄物の排出を制御する神経や腺を破壊する傾向があるからです。

チャールズ・ハーネル著「マスターキーシステム」より抜粋

ちあ魔女から こういった本がいっぱいあるからと、幾つか教えてもらいました。
読めば読むほど 治る確信が強くなってきました。
治るかもしれない 癌が消えるかもしれない 手術はいらないかもしれない。私の気持ちが、だんだん確信へと変わりつつあるのを感じていました。でも、病気にならなければ、目にすることも読むこともなかったかな。
ガンが何かを教えてくれるのかも… と思うようになっていました。

一か月で癌を消すぞ

最初に「どのぐらいで治したい？ 3ヶ月とか半年とか、思い浮かぶ数字を言ってみて」と言われて

私「一か月」

ちあ「。。。。うーん、まあ、死ぬ気でやるんなら可能かな。でもどうして？」

私「ずるずる長引かせたくないの。」

ちあ「うー————ん、その理由かああ。。。。」

ちあ魔女が固まっていたが そんなことはお構いなしでした。このときは早く治したい…と言う思いだけで完治に至るまでの過程(自分改革)がこんなに大変だとは思ってもみませんでした。

(後で聞くと、3カ月ぐらいかかるかなあと思ったそうです。

そこで 兄に「一か月で治らなかった時、落ち込むからフォローしてあげてね」と

言ってくれていたそうです。チア魔女、兄に感謝です。)

「なぜ」が実はとっても大事だと後で知ることになるのですが

ずるずる長引かせたくない ということは長引くと悪化するかも という焦りや 癌は進行する
という間違った思い込みが隠れているからだ ということだった。

無意識だから きづかなかったしこの時は 教えてくれなかったのですが

本人が1か月と言っているなら それを見守ろう

もしかしたら1か月で治るかもしれないし 可能性を閉ざしてはいけない、

ただできなかったときは しっかりフォローに回ろうと 兄たちが がっつり フォローしてくれた。

さらに セミナー時にちあ魔女の「治ったらやってみたい事」を書きしてみてと言われてやってみました。

兄とけんかして書いたのですが 書き出すことがあまりなくて、やりたいことも漠然としていて

ハッキリ見つからない事実にはショックを受けました。

治ってやりたいことが見つからない。

え？うそ？ ないの？

治ったらやってみたい事？が見つからない。

しばし沈黙。。

癌だとは言われたけど 動けないわけではないし、今でもこれまで通り生活できてるし、

まして自覚症状なんてないし…、だからガンと言う自覚がない？

だから、癌が治ったらって、目的がないのかなあ。えっと やりたいことってなんだろう？分かりませんでした。

ちあ「完治旅行は？完治しないといけないでしょう？」

私「ああそうですね。旅行もいいですね。」

そう、このときは「完治旅行」がやっとでした。

治ったらやってみたいことが、10個も見つからない。

あれ、？これは治らなくてもできる事じゃないの。

うーん このあとも、この書き出し作業に苦勞をすることに。

これができないと 今後ワークをするためのモチベーションが続かないと言われて、

治したい気持ちが弱いことに気がついて、ビビったのでした。

でも、書くと頭が整理される。

ウニ状態だった頭が少しずつ クリアーになっていきました。

書き出しができれば 治したいという気持ちが さらに強まっていきました。

人が行動するときは、何かしら前提を持っていて、

前提を持っているということ自体、無意識 無自覚の事が多いそうですが、

それがとっても大事だと教わりました。

「病気が悪化する前提」 か

「病気が完治する前提」で行動しているかでは、結果がまったく違ふと。

癌だと医者に言われて、癌だという烙印を押されると

しかも 複数あれば(1cm大が3つか4つ、多発性と言われて、大小合わせて10個以上あったと思います)

どうしても「病気が悪化する前提」で行動してしまうことが多いんじゃないかと思います。

私も、無意識にそうなっていました。

ピンクリボンの宣伝を見ると、ガンを意識してビビっている私がありました。

これは癌が悪化することにフォーカスをしているし、癌が悪化する前提でいたからでした。

それと、「癌は治らない」と 医者にそう言われると

「治らないんだ・・」ってショック受けちゃいますよね。これって、洗脳されているような気がしてきます。

医者の洗脳は怖いです。ついつい マイナス思考になってしまう。

でも、私の体は私が守る！そう決めました。

医者が治らないと言っても、医者に再発すると言われても、そんなの関係ない。

私の体は私が守る。絶対自分で完治させる。とじゃあ、どういう前提でいればいいんだろう？

「治る前提」で行動をする。

セミナーで教わるまで、普段、自分が持っている前提なんて、気にも留めなかったです。

(というより考えたこともなかった…)

前提は気がつかないことが多いし、だれか分かる人にチェックをしてもらわないと

自分がどういう前提で行動しているのか気づくのが、難しかったりもするみたい。

ちあ魔女のように

「それどういう前提よ。死ぬ前提でしょう。だめだよ」(はい、私、今までやりました…)

と、バリバリにチェックできる人は少ないにしても、

兄に(ちょっと頼りないけど)、まあ、少しは訓練しているとのことなので 頼むかなあ、

ちあ魔女はすぐに、「それ前提が違うでしょう。変えなさい」と言ってくれるのは

コーチングで相手の事を見ているから分かるんだそうですが。

セミナー後は、自分の持っている前提に気を付けることにしました。

病気前提になっていないか？常にチェックしようと思い、これは慣れるまで兄にチェックしてねと頼むことしました。

同じ旅行に行くにしても

「後がないかもしれないから 今のうちに行っておこう」というのは悪化する前提。

「いつでも行けるけど 治った自分へのご褒美に旅行に行こう」というのでは治る前提。前提がまるで違ってきます。

前提が病気だと

「生きた証を残そうとしてブログを書く。」

前提が完治だから

私は「ブログは治ったら書こう！ 完治ブログを書く」と決めたのでした。(なので 今書いているのですが)

治ったらやってみみたいことに

○「完治旅行」

○ブログで「治りました！ だからあなたも大丈夫」を伝えたい

と思っていたので これからもどんどん書いていきます

ちあ魔女のセミナーを受けて初めて分かった事の一つに、

四六時中 緊張していて 身体の筋肉がガチガチでリラックスしていないということ。

私、緊張している事すら気いていなかったんです。

リラックスしていないと、ワークも成果が上がらないというので、

リラックスして体温も上がるという「呼吸法」をまず教わりました。

ちあ魔女に お腹を ぐーっと押さえられて

「ここまではくのよ」と。

「え？そんなに？」

ちあ「吐ききれしていないから もっと吐いて。でないと深い呼吸ができない。」

「呼吸が浅いと、低体温になるからしっかり呼吸をして。」

え～！？ 呼吸一つで？ ここまでやらないと正しい呼吸ができないんだとしばしびっくり。

呼吸は、吐くほうに意識をすることを、徹底させられました。

吐ききれば、ほっいても吸えるでしょう。吐くことに意識するのよ。と、

今まで、意識して腹式呼吸ってやってなかったんですけど、スパルタ式のご指導で、お陰様で、身に付きました

セミナーでは モードについての書き出しがありました。

呼吸法で、やっと 体の緊張がほぐれたところで、

「元気モードの私」と「癌モードの私」なるものの書き出しをやってみました。

「元気モードの私」と「癌モードの私」は

同じ出来事でも、そのモードに応じて、捉え方や対処する方法が違ふとのことで、

【体調が良い時】

○元気モードの私は

体調がいいのは当然でしょうと思う

○癌モード の私は

体調がいいのは今だけだわ。また悪化するかもと不安に思う

【体調が悪い時】

○元気モードの私は

たまたま今日は、身体の調子が悪いと思う

○ 癌モードの 私は

体調が悪いのは、癌が悪化してるのかもと不安になる

つまり、「癌モードの時は、何があっても不安になるみたいだ」ということが分かったのです。

これには、思い当たることがあって、

【ピンクリボンの広告を見た時】

○元気モードの私 ふーん。何も感じない

○癌モードの私 わー~~~~癌の事やってる。いやだなあ、とビビる。

直接、自分の事を言われているように錯覚して被害妄想になり、落ち込んでました。

これでは、病気は悪化しちゃうよね。「感情」と「病気」はとても関係しているという話だったので、

元気モードにいるように、自分が今どの状態なのか確認するよう心がけました。

これ、病気の方はお勧めです。

自分がどのように思う時が病気モードなのか、書き出してみるといいですよ。

書き出したら、

あ、今これ考えた。キャンセル！ 元気モードへチェンジ！！ってやってみたらいいですよ。

そうやって心身状態を切り替えることで自然に脳が健康モードに切り替わり健康になってもいいんだと 思い始めるんだそうです。

ちあ魔女がイメージ誘導してくれました。

「瞑想が 鍵になるんだよ。治った場面をありありと想像して味わってみて。感情も一緒に味わってね。」
ありありと味わう。音声ファイル で、完治誘導がいくつかあるので聞かせてもらいました。

《ネガティブの感情を捨てる》

《イメージ魔法治療室》

《血液がきれいになるイメージ》

《治るために行動する》

などなど… 治るイメージ は気持ちがいいです。

これを毎日やって行ったら治るかなと思えるようになってきました。

「治したい」 から「治るに決まっている」というマインドに変わっていききました。

病気脳から健康脳に切り替わるのをはっきり感じた瞬間でした。

(病気脳というのが存在するらしい。だからその逆をやればいい とちあ魔女から教わりました。

イメージをする時のコツは楽しく行う事そうすると効果が倍増するとのことです。)

二日間で考え方が変わったのは不思議でした。

セミナー後は暇があれば、ちあ魔女の誘導を聞いてました。

イメージの力は

イメージの治癒力—自分で治す医学」という古い本にも書いてあると教えてもらいました。

イメージを使う事により深いリラクゼーションを習う

このリラクゼーションはあなたの体の治癒反応を刺激しあなたの健康状態に対する理解を深める。

更にどうしたら改善する事が出来るかを示唆する内的対話をつくりだす。

この方法は 1972 年以来何千という患者や健康管理に関する専門家に教えてきたものである。

この方法は人々が医者にかかる 90%の問題に効果がある。

[マーティン・L・ローレンス著 イメージの治癒力より]

「期待を持って信じる事」

重要なのはこのイメージ療法を何度試みたか、どれほど熱心にやったかということ。

そこで私、治ったイメージを熱心にやりました。頑張りました。

セミナー最後のメとして、「よし、これからは直感に沿って行動するぞ」と宣言しました。

(不思議な事に、エネルギー伝授効果なのか セミナー後、直感が鋭くなった感覚があったんです)

そして、ちょっとした安堵感と解放感に浸ったのでした。

セミナーが終わると、せっかく東京に来たんだし、ということで、初めてスカイツリーに登ってみました。

キャー、すごい、すごい。街並みがおもちゃのよう、眺めも最高だし気持ちいい (^_^)

大パノラマで広がる景色を見ながら思いました。元氣だと旅行も楽しめる。

健康だとどこでも行ける。元氣なら仕事して旅行も楽しめる。

健康っていいことだな健康って有り難い。(しみじみ・・・)絶対、健康になって、まだ行ったことがない所に行ってみる。

子育てが終わって、自分の時間が出来たんだから色々なところに行ってみたい。

そう思いました。久しぶりに心から笑えた。病気なんてなっている場合じゃないよね。よし！

「治るかな、治るといいな」から

「治したい。治るよ。よし、治す！」

と意識が変わっていった瞬間でした。またスカイツリーにも登るぞ 完治あるのみ！

東京から戻ってくると 低体温だった私が 36.72 になっていました。

(毎日体温計を測っていましたが ずっと体温が上がったままでした。)

基礎体温を付けているのですが、最初の頃は低温期で 35.2 度くらい 高温期でも 36.3 度くらいでした。

癌は、体内温度42度以上で死滅すると知ってから、極力、体を温めるようにしてきました。

体温が上がってきたのは嬉しかったです。

そして、ちあ魔女のセミナーを受けた方々でシェアをしている受講生コミュニティで、1 カ月、毎日 日記を書き、投稿しました。自分に課したワークを毎日やるモチベーションを保つために、

自分を追い込むために完治までのカウントダウンを始めました。日記の初日、完治宣言をしたのですが、

日記を書きながら(アップ後は後戻りできないよね。大丈夫?)

という私と(前提は完治だし、確信もあるから大丈夫!)

という私が交互に出てきて「どうしよう、どうしよう…」状態でした。

最後は、勇気を出してパソコンのキーをポチッ！押しちゃった～

「今日は完治宣言させてください！」

恐る恐る日記欄を見ると、しっかりアップされていました。(あたりまえなんです(笑))

すると、皆が「がんばれー」と応援書き込みや「いいね」をたくさんいただきました。

やっぱりうれしかったです。皆が応援をしてくれる。

好意的な仲間にも恵まれ やる気が出ました。兄は相変わらず遠隔を送ってくれているらしい、有り難かったです。

お陰様で、毎日の自分で決めた課題をこなしていくことができました。

あたし、がんばりました さあ、1か月と決めたからは、やらないと、やらないと！

セミナーを受講してから毎日

セルフヒーリングの12ポジション

呼吸法、

誘導 を聞く を続けました。

我ながら、飽きずに頑張ったと思います。 完治までカウントダウン日記を書いたら、皆から応援メッセージをもらいテンションは上がりました。今まで人に注目されたことが少なかったので正直うれしかったです。

アクセス数が結構あって、書くことでモチベーションが続きました。応援されるって嬉しいな。

「治らないんじゃないだろうか」 から「よし、治すぞ！」となり

このころは、「何が何でも治すぞ」と 意識がすこしずつ変わっていったのです。

そして 治る前提で行動しているだろうか？ということも 考えるようになっていました。

もうすぐ治る と 言い聞かせて がんばりました。

ちあ魔女のセミナーを受ける前、

【ピンクリボン】【がん検診】

という文字を見たり、聴いたりすると、妙にビビってしまう自分がいました。
それは自分が癌だったから。ああ、まだびくびくしているんだ。
前提が違うぞ。と言い聞かせています。しかし、最近びくびくの度合いが減っていることに気がつきました。
少しずつ健康脳になってきているのかもしれない。

うれしい

今までは 癌って治るの？手術したら大丈夫なの？

もし再発したらどうしよう…再発しない保証はどこにもないし
年に何度かの定期検診を受けなきゃいけないだろうし検診の度にドキドキするよね。
ずっとこんな生活しなきゃいけないんだ～生きるって大変だあ!!って思っていました。

でもセミナーを受講して前提を 『完治する』に変えてから気持ちも変わりました。

完治すれば再発の心配もないし、ビクビクする必要もない。
検診に行くこともないし生きるって楽しい♪って思えるようになり
いつの間にかそういうのが目につかなくなり ピンクリボンを見ても 動じない自分になっていきました。
私は自己否定していることにも気付いていませんでした。

自己否定？

肯定したら癌が 治る？意味わかんない…みたいな(笑)
最初 兄に言われた時に そんな馬鹿な と 疑い 抵抗したものです。
なんで セミナーを受けたのか受けても損はない 東京見物も悪くない そう思ったから
それを受講生コミュで発信したら

「私自身もヒエラルグを受講するまでは 少なからず、同じような事を思っていました。
イメージだけで病気が治るんだったら 人生が上手くいくんだったら、皆幸せで、健康な人ばかりじゃん！と。千晶先生が、おっしゃるようにイメージの仕方や 素直さが重要なんですが
そこを、ちゃんと理解して実践することが とても大切なんですよ。」

今では、その当時からは考えられないくらい 超元気になり、ネガティブ思考だった性格も
現在の私しか知らない人達からは ネットだと思われるくらい変化していきました。
セミナーを受講してから難病を治した方にもたくさん出会いました。

「自分を信じれば、きっと大丈夫！ 応援しています。」と書いてくれた門広美さん。

ありがとうございます。心強いです。門さんは

「心が冷えるから体も冷える」瞑想しながら「どうして私が冷え性になったのか」探っていくと・・・

☆人間関係に疲れ、心を閉ざし、人と関わらないように全てにおいて断ち切っていた。

冷たい人と周りから思われることで、人を寄せ付けないようにし自分自身がこれ以上、傷付かないように守っていた

☆殻に閉じ込め、そのために身体を巡るエネルギーも断ち切られて身体も冷えていった。

☆心も体も冷えてエネルギーが低いから運氣も落ちていく

という様なことが判明。

(瞑想すると、色々なことが分かったりメッセージが来たりするのです)

びっくりしました、頭では心と身体は繋がっていると分かっているけど今まで精神的な部分にフォーカスをしてきたためそちらに

ばかり意識をしていたから、すっかり忘れていて・・・。

そういえば、ヒエラルギエネルギー伝授を受けた時

体中がポカポカして手のひらからも汗をかいていたこと今更思い出した！

冷え性は気が付いたら改善していたことに、後になって気が付いたのです。

真夏でも靴下が手放せない、平熱は35度だった私。

確かに冷え性が治ったら、肌荒れやアトピーなどアレルギー疾患もすっかり改善したっけ。

冷え性は身体だけではなく、心も冷えているからなってしまうことがあるみたいです。

食べ物や飲み物だけではなく、心の在り方なども見ていくといいかもしれません

運が悪い、人間関係が良くない、ネガティブになってしまう方

冷え性を治すと人生上手くいくようになるかも！」門広美さんのブログより

「病気は意識を変えたら 好転する」「人間のイメージは凄いものがある」

「信念は凄いものがある」 今なら 体験として わかります。

この言葉を素直に信じてイメージワークしました！ 自分を信じて良かったです。

実は、癌だけではなく私、頭痛持ちだったんです。

台風近づいてきたり、天気の悪い日は薬飲んだり、寝込んでたり・・・

今は 頭痛がなくなりました！ 疲れにくくなりました。めっちゃ元気です。

ちあ魔女から

「エゴを捨て 内側にありがとうを言う法則」を教えてくださいました。

動画を見ながら 早速実践！ エゴをどけるといい。意味がわからなかったが 素直にやってみました。

エゴってなあに？ エゴの反対は真我

真我とは何でも知っているスーパーコンピューターだと ちあ魔女が言っていた。

その周りにあるごみが エゴ

(「できない。無理。私はだめ。病気が治りっこない。医者が治らないって言った。

悪化したらどうしよう。死ぬのは嫌だ」 これらぜーんぶ エゴになるそうです)

心の中にある不要なエゴをイメージで5回捨てました。ポイ ポイ 横にどけていくイメージ。

自分の内側を見て「気持ち悪！」ってなっちゃいました

宇宙エネルギーを受け取り「ありがとう」を続けると涙が止まらない・・・

途中で号泣して「ありがとう」が声にならないこと数回

その後は落ち着いて「ありがとう」を続けると 感謝の気持ちが溢れて なんととも言えない感覚でした

素直になるって簡単？・・・だけど難しいって思っていました

でも、この法則を実践してみて 素直になりきれなかったな・・・と思いました

「ありがとう」を言っている間は 光に包まれた安心感がありました

素直って こんな感じなんだ！ 難しく考える必要ないんですね

エゴを捨てると心が軽くなります、今までイライラし過ぎてました

本当につまらないことでイライラしたり、他人のことを気にしたり・・・忙しかったですね～

デトックスのために、よく友人と岩盤浴に通っていたのですが、

セミナー受講後は、癌は熱に弱いということで、これまで以上に

汗から悪いものを出す気満々で、楽しみに通っていました。♪
セミナーを受講して、初めての岩盤浴では、明らかに違う体験でした。
うつ伏せになって5分後 いつもなら ジワッと汗をかいてくるのですが 今日は何かが違う！
最初から大量の汗 もうビッカリです＼(◎o◎)／！
友人も「どうしたの？」と不思議そう
私は(よし！この調子(o^^o)♪)と満面の笑みです。
セミナーを受講して初めての岩盤浴では、体が確実に変化していました！

受講前は ただ汗をかく という感じでした。今日もいい汗かいた！ みたいな…
教わったイメージングで「汗と一緒に体の悪いものが出て行く」イメージをしながら温まっていると、
すると出る出る！ 大量の汗がでたんです。
いつもの汗と違いドロっと言うか重い感じ？ 着ていた服もビッシヨリ！
体から嫌な気や悪いものが出て行く感じでした。
1回 15分を休憩しながら4セットしました。服が重い～ Σ(°д°Ⅲ)
脱いだら体と一緒に気持ちも軽くなりました。セミナー受講してしばらくして気づいたこと

「腹式呼吸してる」

以前は 気がつくと肺呼吸してました。セミナーを受講して呼吸法を習い、
実践していくうちに自然と身に付いてきやのか。
深い呼吸が気持ちいいって わかってきました。今までどれだけ浅い呼吸をしていたことか。
呼吸が深いと体もリラックスします。
リラックスすると元気になりますよ。と ちあ魔女が言っていたっけ？
腹式呼吸…落ち着きます
生きてる。深い呼吸は心地がいいです。心が落ち着きます。
以前は、セルフヒーリングの12ポジで癌の部分に手を当てると
スゴく冷たかったのですが、このころは、冷えてる？ってぐらいになってきていました。
目を閉じて呼吸法で落ち着くとキレイな緑が浮かび草原のイメージかななんて思っていると
今度は「健康」という文字が浮かびました。そうか！健康に向かっているんだ！体が喜んで！
そっか！だからワクワクが止まらないんだ。
どんどん感覚が鋭くなっている。そんな感覚を覚えています。

愛場千晶メモより

癌が治った人はいっぱいいる、でも自分が癌になってしまうと治った人を探そうとはしなくなる。
そういう思考ではなくなってしまうのです。ショックで
このままだとどうなるのか、病状の悪化を探し出してしまいます。
加陽子さんは多発性の癌で乳がんの中では珍しいそうで再発しやすいものだったそうです。完治するまで名前すら忘れていたそうです。治った時にそういえば何癌だったかな？
あああ、転移しやすい癌で両方の胸を全摘出する人が多いというのを 完治させてから知ったそうです
脳が健康脳に切り替わったので 再発することはないんだと 加陽子さん自身もいついたので
(マインドを健康に持って行って心の奥に強烈に焼き付けているので大丈夫だという確信がある
と本人も言っていました これはお兄さんが ガン検索するなど言ったのがきたようでした。)

その時に病気の悪化にフォーカスをせず、

お兄さんが 情報を持っていて、最初は妹に うざいなとおもわれながらもしつこく、コンタクトをして、生きるんだよ。

お前の命だ、本当に手術でいいのか？ということ を 瞑想で訴えていった。

普通にいうと伝わりにくいことも瞑想だと心の奥と直結するので伝わりやすかったりする。

やり方はまずはリラックスをして呼吸法をしっかり行う、リラックスが基本になります。腹式呼吸の深い呼吸法をします。

そのうえで 家族を思い浮かべ 自分の正直の思いを伝えてみる。元気になってほしい、

ということを訴える。そうするとその思い。その愛情が相手に伝わり 相手が変わることがある。

ただこれは、相手を変えようとしてもだめで、コツは相手の幸せ、健康を 強く強く願う事

そうしながらイメージで説得をする。その時に相手の幸せ以外の思いを入れない事、がポイントになります。

家族への愛がポイントになります。家族や恋人がやるのが一番なのです。

家族が病気になった時、こうやって瞑想ができるかと相手を救うことができます。

見ず知らずの人ではこの愛情の部分が響かないので、親しい家族がいいのです。

瞑想は自分のリラックスや、健康、家族の健康、その他願望達成にも役立ちますので

ぜひ瞑想をみに付けてみることをお勧めします。

基本はまずは呼吸法で リラックスをすること。呼吸法は病気の人がリラックスするにも役立ちますし 病気の人を持つ家族も役立ちます。瞑想はあいばが個人指導をしていたり 音声ファイルもホームページから聞けます。

これまで、癌になったのは、たまたま癌になったんだ。

不運だったと思っていました。でも、セミナー中 ちあ魔女との会話の中で

(淋しいから 病気になった)と何となく気付いてきました。病気を引き寄せたんだと。

「さびしいから癌になった気がするんですけど。」とメールをしてみると

ちあ「まずそれを認める。淋しいんだと一旦認めてみなさい。」と教わりました。

しっかり自分と向き合って認めよう。そう決めて自分に聞いてみる。

寂しかった？ 寂しかったね。素直に言っていんだよ。

うん、淋しい ずっと一人だと思うと余計に淋しい…

病気になれば誰か構ってくれる？だから病気になった？そんな思いが頭に浮かびました。

え?? なにこれ?? こんなこと考えてたの？

でも 私の頭に浮かんだものだから

無意識だけど私の中にあっただろうな。え~~~~~ビックリ おまけに ショック Σ(°Д°Ⅲ)

でも それも ちゃんと認めよう。もう 号泣です。

トコトン寂しさに浸りました。浸ること2時間。ハンドタオルもぐっしょり。

鼻をかみすぎてティッシュの山。ふと「あ~さびしかった」 あれ？

過去形の言い方になってる！そう思った途端に視界が開けて体が軽くなりました。

気持ちが軽い。笑いながら泣いてる？

自分の意思で生きてる！生かされてることに感謝！

子供と自分の人生は別もの。一人でも大丈夫。

今度は嬉しくて号泣(笑)早く完治してワクワクしまなきゃ！

鏡に映った自分のブサイクな顔見て大爆笑！！認めると吹っ切れました。よおし！

これまで、淋しかった事すら気付いてませんでした。

え？ それが癌の原因の一つなの？

最初ビックリしました。兄に言われてもピンとこなかったし

「何言ってるの？そんなはずないでしょう！」と逆ギレしちゃいました。

でも 自分と向き合ってみた時に出てきました。

自分と向き合うのは正直大変でした。(頑固でしたから)でも 自分で何が何でも治すんだと決めたんです。

決断 100% 治すと決めた時に しっかり向き合わないといけないと思いました。

そうしたら寂しいから病気になった事に気が付きました。

癌に限らず、そういう人が多くいるそうです。ただ ほとんどの人が気付けない。

私が気付けなかったように、なかなか気付けないんだそうです。

子供の喘息も 私を見て欲しいといった無意識の願望から始まるがあると本にも書いてありました。

それと同じかもしれない…

いい年した大人が 母親が こんなこと思っていたなんて、認めたくないよね。

でも 認めた時 過去形に変わりました。

私 淋しかったんだな。泣いて 泣いて 泣き疲れたらスッキリして淋しくなくなりました。

そうしたら 完治への階段を登りました。そんな確信さえありました。だから言えるんです。

自分の感情と向き合ってみたらいいよと向き合って内省法をしてみます。(自分の心を深く見る作業)

解決策が見つかるから。

ちあ魔女が言うには病気じゃなくても内省法は お勧めだそうです。

そういえばセミナーのお昼休みにブツブツ内省法してる人がいたっけ。

病気の人向けのちあ魔女特製 や、無料誘導音声ファイルをいただき

魔法完治部屋をイメージして 癌細胞を消す薬や完治の魔法の薬など作って飲みました。(イメージで作るんです)

とても居心地が良く、リラックスできる部屋でした。

何でも治すドクターをイメージで作り上げその方に「私は完治しますか？」と質問する

「完治も手に入れています 後は貴女次第、最後まで気を抜かないで」

と言われ、完治に集中するようにとアドバイスもしてもらいました。

過去を捨てる誘導では 小さい頃ではなく最近の両親を介護していた時の記憶が蘇りました。

寂しさや辛かった記憶が足元から砂の中に吸い込まれていくような感覚がありました。

気持ちが軽くなり、今回も涙が止まりませんでした。

さらに過去を振り返ると幼稚園で入院していた頃の私がありました。

「痛い、痛いよ、もう嫌！」と点滴を嫌がっている私があります。(もう痛くないよ…)

そう言いながら砂の中へ捨てました。また涙…

心の部屋ではまだ殻に閉じこもっている自分発見！ 早く殻から出なきゃ！

気づきがたくさんありますが 確実に前に進んでます！

誘導の途中でゲップが止まらなくなり何か一緒に出ていく感覚

その後気持ちがスッキリ 不思議な感じでした。

小さく広範囲にあった癌は消え大きな癌もだいぶ小さくなったイメージです。完治宣言する仲間も増えました。

友達にも「絶対完治するから応援してね」と言えるようになりました。

更にやる気でました！ 自分を信じて進みます ○(≧▽≦)○

この頃(去年の7月)はこんな心境で頑張っていました。

私が毎日欠かさずやってきたことの一つに「完治誘導」を聞く！がありました。
たかがイメージと思っていましたが、今となっては、効果のほどが実感できます。
最初は、ただポーズとイメージをしていましたが
振り返ってみると「完治のためにイメージってこうやって使うんだ」と分かった感じです。

兄に最初、「イメージ療法を試してみようよ」と言われた時は

「何言ってるのよ!? イメージなんかで癌が治るわけないじゃん!？」そう思っていました。

でもやってみて感覚をつかんだから そうか、こういう感じなんだ!と納得…

(兄ちゃん ごめんね。やっとわかったよ m(_ _)m)

それは… 漠然とイメージするのではなくこの場면을明確にイメージすること。

マンモで「異状なしですよ」と言われている場面と イメージした気持ちのいい治療室の中で、これまた最高のドクターをイメージして、その人に癒してもらい、治すには何をやればいいのか聞いて、答えをもらったら素直にやる。

この素直がカギ。

文章だと伝わりにくいのですが (実際にお話しできたら感覚が伝えられるのですが。)

他、毎日の日課では、

イメージでの治療部屋で、血液を入れ替えたり(血液の濁りが病気の元になるので)

癌細胞が小さくなるようにイメージをし続けていました。

そのうち、もしかしてだけど、もしかしてだけど、小さくなって来てるんじゃないの? と、感覚に確信が出てきました。

今までは癌だからと沈んでいた時もありましたがそれがなくなりました。イメージ凄いです。

耳から入る誘導が脳幹に響き(そんな音なんです)

悪化するとは思えない(ありえない)

治るに決まっている。 治るんだもん。 だから 大丈夫!

そう思えるから前向きです。これが健康脳なんだなと実感。

病気前提

健康前提

最初は『ふう〜〜〜〜ん そんなのがあるんだ』ぐらいだったのですが
感覚で『あ!! 脳みそが切り替わってる』というのがはっきり分かります。

落とし込むまでに時間が必要でしたが

毎日のセルフヒーリングと誘導のおかげで健康前提になっています。

脳科学では 脳みそは騙されやすいという性質があるそうなのです。

だから脳みそに “癌は治っているんだよ”と思いきませます。

それが心の奥に焼き付き インプット出来ると 自然に健康モードになります。

後は直感に従って行動をするだけでした。

去年のセミナー終了後に「完治する自信があるのなら、SNS で完治宣言ができる？」と ちあ魔女に言われ、

正直 勢いで SNS に宣言しましたあせる

意地もありましたし…(笑)

どうせ書くなら毎日書いてみようかな でも日記を書く事で何が変わるの?

意味あるのかな? なんて思っていました。

意味ないなんて大間違い！

誘導やエゴを捨てる時は少しの変化でも日記に書けるように集中して実践できるようになりました。

自分の気持ちの変化や気づきが分かって面白い！

私ってこんな考え方してたんだ… 同じ誘導していても感じ方がこんなに違ってる～

みんなでシェアするって楽しい♪一番は、毎日書くから誘導もサボれない(笑)

今では日課です。日記書きながら満足したり、反省したり…

みなさんのコメントやちあ魔女のアドバイス…凄いパワーです！

人間一人では生きていけない 助け合いだなんて痛感してます。

日記を書く事で完治に自信を持つことが出来ました。

今、私は 多くの方に支えられ助けてもらってます。

でも すぐに助ける方にいきたいと思います。

本当に本当に感謝です。ありがとうございます。

※このシェアは 誰もが見えるブログとかではなく、いい磁場、応援磁場でないとだめなんだそうです。

病気完治に反対しない仲間です。やることが鉄則だそうです。

仲間に恵まれてることに感謝します。

(治るまでは ネガティブな 治るわけないという人をそばに寄せないこと大事だなと思いました。)

セミナー受講から3週間後、平成25年7月の私の一コマです)

飲み会がここのところ多いです。完全に自分が癌であることを忘れていました。(笑)

息子の高校時代の役員メンバーなど五人で飲んでました。

ふとした話題から、「仲間力」の話になりました。

息子の高校は部活動が盛んです。チームプレーが出来なければレギュラーになれない。

部によって明暗が分かれています。

強い部は仲間意識が強いが個人プレーが多い部は強い子がいても勝てない…

そんな話をしながらヒエラルク受講生の SNS を思い出していました。

私も一緒だな！ 自分から逃げないために完治宣言をして、日記を書いていた。

独り言のつもりでしたが たくさんの方に読んでいただいています！

応援やアドバイスまで… 一人だったらサボったり諦めていたかもしれません。でも 皆さんに励まされてます。

私って幸せ者だと改めて思いました。見えない力に後押しされてます。

どんな薬よりも強力だと痛感しています。この SNS のパワーは半端ないです！

皆さんからのパワーを有難くいただきます。いつも読んでいただき ありがとうございます。

(今 振り返ると、ホント たくさんの人から応援されてました。感謝

愛場千晶 のHPより抜粋

イメージ力はたかがイメージという方もいるかも知れませんが

イメージの仕方にコツがあるのです。この感覚が難しいのですが

1) まずはリラックスは基本中の基本 リラックスしたつもりの人が多い

2) 呼吸法(深めの呼吸法がしっかりできていること 1:1:2で行う

- ①腹式呼吸で4秒で鼻からゆっくり息を吸う(吸った時お腹が出る)
- ②4秒間息を止める(我慢は禁物です。自分のペースに合わせてやりましょう。)
- ③腹式呼吸で鼻からゆっくり息を吐く(8秒)(お腹がへっこみます。)
- ④これを1日5分やるだけです。心も安定します。イライラの時にもおススメ。

* 注意 食後は避けること。長くやれば良いというものではありません。

(腹式呼吸出来ると初心者段階で体がポカポカしてきます。

2週間も続けると体調も整ってきます。そうでない場合は やり方が違ってる、腹式呼吸が出来てないことがありますので 気をつけてください。)

腹式呼吸は 風船を膨らませる要領でやってみてください。

4秒できついたら、3-3-6秒でやってみる。無理をしないこと。

自分のペースを探して行ってください。目安です。1:1:2と 吐く時ゆっくりがいいですね。

3) 自分を信じられること

疑いながらイメージをしても効果は1/100 ぐらいです。

自己信頼が大事なんですね。

最初は疑っていても いい仲間に恵まれると 上達も早いです。

イメージカのコツを教えてくれる仲間に恵まれること大事です。

イメージ方で願望達成や病気を治した人のそばにいてその呼吸周波数を学ぶとさらに GOOD です。

良く職人さんは見て学ぶとならいます。門前の小僧習わぬ経を読むにたとえられるように、環境が大事。

類は友を呼ぶではありませんが、できる人のそばにいとできるようになる、

スポーツなどでも 自分よりも上手な人から習うと上達すると言いますように

自宅も心地よい空間にする。(黒っぽいお部屋ではなく、ピンクのカーテンや 明るい色の部屋がいい 色を与える影響もあるため)

イメージ時の視線は 斜め上がいい、下だとネガティブなものを引き寄せる可能性があるからです。

画像は大きく映画館のようにカラフルに、動きのある動画でできるだけありありとリアルを持ってさらに感情も取り入れられます。

仲間の応援の力

(こんなイメージでいいのかなと思ったときにアドバイスをくれる仲間

マイナスの言葉を言わないで、完治を信じてくれる仲間

口では治ってねと言いながら心の奥では治るわけないよという仲間と一緒にいないこと。完治を心の底から信じてくれる人と一緒にいましょう。見極めるのは難しいかもしれませんが、加陽子さんはごく親しい親友と、セミナーの仲間以外には癌になっていることを知らせなかったそうです。治ってから、知らせたそうです。足を引っ張る仲間 本人は引っ張るつもりはなくても「かわいそうにね、しんどいでしょ。」という人を遠ざけたそうです。

(この友達選び、磁場選びは大切です。)

感覚 も大事です。感覚がつかめたら確信ができるようになります。

確信ができると さらにうまくいき結果が付いてきます。

正しくイメージができてくると閃きがわいてきます。そしてその導きに従って行動をすることお勧めです。

(セミナー受講から3週間後、平成25年7月の私の一コマです)

久しぶりに女子会？(笑)しました。大笑いもできて楽しかったです。(笑うことも治療の一つなので) 体重増加で帰って来ましたΣ(°Д°;)そんなことはさておき 兄からオゾンマグネ療法を教えられ何度か体験しました。(血液をきれいにする療法で 東京の南千住の病院で体験できます。東京に行った際に立ち寄るようにしています。この先生が凄いい人で、励ましてくれる。自分も治るんだって思えるのです。東京に住んでいたら毎週通いたいところです。) 血液ってイライラすると濁るらしい… 健康な人は綺麗な色でサラサラしてます。(ちあ魔女は綺麗なピンク色ですねとオゾンのドクターに血液をほめられているそうです。私も絶対に綺麗な血液になるぞと 思いつつ)

初めて受けた時はどす黒い色でドロドロしてるみたいでした。今回はイライラする事が多かったので血液がどうかな…とっていました 案の定、いつもより濁ってる～やっぱり… 体は正直だな 血液さん ありがとう 今日体がホッカホカ o(^▽^)。あれ？ワクワクしてる？ 遠足前の子供が おやつを出したり入れたり待ちきれない… 早く遠足行きたいなあ ワクワクする～♪ そうなんです。楽しくてワクワクして落ち着かないんです。目を閉じて呼吸法で落ち着くとキレイな緑が浮かびました。草原のイメージかな なんて思っていると今度は「健康」という文字が浮かびました。そうか！健康に向かっているんだ！体が喜んでる！バンザイでした＼(^o^)/ そっか！だからワクワクが止まらないんだ。

本当に体って正直ですね。ワクワクし過ぎて今夜も眠れるか心配です。自分の体に変化してきている実感がある頃でした。毎日楽しかったですよ。

7月 伊勢神宮に行ってきました。前から行くと決めていたので手術しないでよかった。手術したら行けなかったかもしれないし… ちあ魔女から「あら私も伊勢神宮に行くのよ。1日違いね。」と言われました。「パワーがある神社やお寺や 時々行くといいのよ。祈ってきてもいいわよ。」と言われたので、素直に神頼みしてきました。ちあ魔女は伊勢神宮と高野山にいつくるそうです。私「神社とお寺ですか？」 ちあ「節操無いといわれるけど。いいものは何でも取り入れるのよ。教会もいくわよ。スタンドグラスとかきれいだし。皆がいつ言っている場所はね、いい磁場が出来上がってるのよ。だから神社仏閣、教会もいいのよ。私無宗教だから宗教心は持ってるけどね。高野山では写経もするし、祝詞もとなえるし、何でもありなのよ。」と笑っていました。そしてアドバイスをいただきました。「神社巡りで病気を治した人もいるんだよ。大神神社なんて多いらしいですよ。神社で癌完治のお願いをしたらしいよ。素直に、そして、じっくりと手を合わせて頼んでみたらいいですよ。」とメールをいただきました。そうか、パワーいっぱいもらってこようっ♪

伊勢神宮の風宮で神様に挨拶をし

「今月で完治したいのですが、力不足であれば お力添えいただけませんか」と尋ねたところ
風が吹き抜け『頑張れ』と浮かびました。

多賀宮でも同じようにし、頭を下げた途端セミが一斉に鳴き出しました。

どのくらいのセミが鳴いているか分かりませんが、物凄い数です。私には鳴き声が拍手に聞こえました。

『完治、確信しました ありがとうございます』と言うと

それまで凄い勢いで鳴いていたセミがフェイドアウトするみたいに静かになり

一緒にいた友人も『セミの鳴き声じゃなかった!』と驚いていました。

その間は参拝者はなく、セミが鳴き止んだ途端に多くの方が訪れました。

それにもビックリ!! 外宮パワー凄いです。外宮のすぐ横の多賀宮では階段を上って行きます。

時間がないので駆け足だったのですが、息切れしないんです。後ろから押されてるみたいな感じなんです!!

正宮で参拝していると中央の布が長時間舞い上がり、パワーを感じました。

凄いて感じで口が空きっぱなしでした。伊勢神宮はすごいです。

神社でこうやってメッセージがもらえるんだあ 面白い。

ちあ魔女が神社仏閣に行くのがわかる気がしました。

伊勢旅行からの帰ると他県で寮生活の息子も帰ってきました。疲れもあり、うつ伏せに寝ていると久しぶりに息子が背中に乗ってきました。(以前は体が疲れるとマッサージ変わりに乗ってもらってました)

いつもなら少しの時間で痛くなり『痛い、おりて〜』と叫んでいました。

あれ?今日は痛くない! 気持ちいい! 足の裏も大丈夫です!

『健康になってきているからだよ』と心の奥から魂の声がしました。

不健康だったから痛かった…納得です。

癌は急になるわけではなく 今までの体の不調の積み重ねなんだなと実感しました。

やっぱり体は正直です。

今回の疲労、以前だったら 寝込んでいたかも…

疲れているけど心地いい感じします。磁気ベッドのおかげで回復も早そうです。

(磁気ベット <http://www8.big.or.jp/~aiba/goodsindex3.html>)

は ちあ魔女紹介というマットレス10マン分の割引になるそうで買いました。疲れ取れます。

ちあ魔女のところで体験して 心地よかったし、兄も持っていたのもあって買っちゃいました。

私が元気過ぎて息子は私が病気ってこと忘れてます(笑)

私も忘れてました(笑)

病は気からですよ!! その通りかな!!

塩風呂にはいって、湯船で体にありがとうを言い、12 ポジ セルフヒーリング。

ガンにも色々気づかせてくれてありがとう。

おかげで人生変わりました。お風呂上がりの お肌も心なしかツルツル♪

塩風呂の後のお湯には、白い浮遊物!

ばっちそうなもの 毒素?らしきものが結構出てました。

伊勢神宮効果もあるのかな? 身体が元気になっているのが体感できました。

いつものように誘導を聴く。いらぬものを捨てる瞑想 あれ?何か変?

奥に引っかかっているものがある！なんだろう？ 嘘でしょ!! 不安がある！Σ(°д°|||)
隠れていた不安が誘導を聴き続けることで出てきたようでした。(誘導奥が深いです)
何で??? ほんの少しでしたが完治していなかったら…
という気持ちが残っていました。

慌てて“ポイ” 気持ちを落ち着かせてイメージの完治ルームへ
完治を尋ねると「大丈夫！落ち着いて」とメッセージが来ました。
思わず泣きついて「どうしよう」と慌てた。すると
「あなたの不安は私が引き取るから安心して」
とメッセージが来ました。すると胸につかえていたものがなくなり
ハートが光に包まれ軽くなるのが分かりました
スゴくスッキリした感じ！ 気持ちいい…
完治宣言をしてあと数日に迫ってきたので焦っていたのかもしれませんが。
一か月で治らない時は動揺するだろうというのはちあ魔女の想定内だったそうでした。
そこで 日記を見たちあ魔女からメールが来て自分と向き合う瞑想をしなさいと言われました
* 確かにこの頃は「大丈夫！」という気持ちと
「もしかすると…」という気持ちが交差していました。今思えば、ここからが自分との闘いでした。

最初に1か月で癌を消しますと言った時にびっくりした、
どうしてとかと理由を聞いたら 早くしないと続かないということだったので
これは 時間を書かると癌が悪化すると思ってるなと直感した。
ただ今 水を差してはいけないと思ったので 一か月なら一か月でいいからやってみて
根性で 一か月で治してしまう人もいますので それもありだとおもったのです
それでだめそうな時は 完治宣言の10日ぐらい前から 不安になるかもしれないからと
お兄さんがつつりフォローしてね
「一か月たつころに治らなかったらどうしようという不安が来るかもしれないから」と見てあげるように伝えた。
予想は当たりました。これは長年多くの人を見ているので 経験からわかるのですね。

そして加陽子さんの日記は不安がうかがえたので 日記はいいから
瞑想をしてもらって 精神力を強くしてもらおうと思いました、
瞑想は心を強くするのにうってつけなのです。ぶれない軸を聴いてもらって 瞑想月間として
瞑想をするようにお伝えしました。そうすると不安が消えると思ったのですね。

ちあ魔女の勧めで 音声ファイルの <http://www.healingroomai.com/shop/>
今日は「自分は素晴らしい体感」で瞑想をしました。
ちあ魔女の声聞きながらゆっくり深呼吸をします。
素晴らしくない人はいない…そうなんだ
「自分は素晴らしい存在と認めてください」と誘導で言われ
自分は素晴らしいんだと認めたときに涙、涙、涙 (;>_<)
そういえば友達から「落ち込んでいてもあなたといると元気になれる」っていわれたなあ
仕事でも「ありがとう あなたが担当で良かった」って言われた時は嬉しかったなあ
些細なことだけ誰かの役に立てたんだ！私は素晴らしいんだ！

「自分が素晴らしいと認めると相手も素晴らしいと認められる」

その通りですね。確かに素晴らしい人が私の周りにたくさん居ます。

でも気付いてない人、多いかもです。

あなたは素晴らしいんだよって周りの人達にも広げていきたいです。

この世に一人として同じ人間はいないし

同じ性格の人もいません。みんな違う人間 だから一人一人違う素晴らしさを持っています。

周りの人達の素晴らしさに気づける…そんな自分も素晴らしいんです。

素直に「自分は素晴らしい存在」って落とし込むことが出来ました。

瞑想以外でもBGMで聞いてました(今も聞かいていますが涙が止まりません) 1日泣いてたかな

自分は素晴らしい、そんな自分に“ありがとう”ですね。

明日からの瞑想も楽しみです。 ちあ魔女、アドバイスありがとうございます♪

* しっかり自分の中に「私は素晴らしいが」が落とし込めると「みんな素晴らしい」ことがわかってきます。

私は瞑想するようになり誰かと比較したりすることもなくなりました。

苦手な人にだって素晴らしいところがあります。 まず、気付いてください。自分の素晴らしさに！

今日の瞑想は「ぶれない軸」 NO6どんな時に自分がぶれていると感じるか？

- ・決断ができない
- ・イライラするとき
- ・呼吸が浅く、姿勢が悪い
- ・ため息が多い
- ・気持ちに余裕がない

そうだなあ 確かにこんな状態の時はぶれてるな…納得

ブレの修正方法も自分での確認や呼吸法など納得できる結果が出ました。

ブレていないか確認しました。合格点でした\(^)/

意識して「ありがとう」を言うと、ありがたい気持ちが沸き起こりありがたいことが起こる

ありがとうの連鎖 ありがとうってスゴイ！ 私の周りは ありがとうがいっぱいです！

自分にもありがとう 周りにもありがとう 感謝しても足りないぐらいです。

今の自分が未来をつくる…私の未来は輝いています！

* 去年の私が今の私をつくっています。

「ありがとう」の言葉で変わるの？ と思うかもしれませんが。

表面だけのありがとうでは意味がないんです。心からありがとうと試してみてください。

最初は自分自身に「ありがとう」ハートが温かくなりますよ。

言葉の力は偉大です。人の心も変える事ができるから。 そう思えるようになりました。

今日の誘導は NO4「自信 緑の呼吸法」です。塩風呂に入りながら誘導を聞いてみました。

何に自信がないか→自分に対して自信がなかった

なかった→ちゃんと過去形になってるから大丈夫！

なぜなら 完治に向けて行動してきたから。行動してきたことに自信があるから。

昨日までの私は 自分を信じて行動してきたのに
信じてたつもりになってました。(ちあ魔女から愛のムチはいりました♡) ごめんなさいと自分で自分に謝りました。
しっかり ありがとうも言いました。頭で考え過ぎ(意識)てました(反省してます)
お腹(太陽神経そう 生きる力をつかさどる場所)に意識を向けます。
肩に力が入りすぎて リラックス出来ていないと指摘を受けました。
それにも気づかない私… 緑の呼吸法は 森林浴してる感じでした。
リラックスが必要な私にはもってこいです！ とっても落ち着けました。

* 塩風呂おススメですよ。今も入ってます。この時期は癌を治すというよりも意識改革してたかな。
自己否定をやめて自分をありのまま認める。もちろん癌の状態も気になっていましたが…でも焦りはなかったですね。
必要な時は頭で考えずにハートで考える。自分の内側に聞いてみる。大事です。

ちあ魔女からフォローのメールが入りました。
SNS をみているから、私の状態がわかるのかもしれない。
“完治まで〇日とすると焦るなら、カウントダウンはやめなさい”
ということで、日記を毎日書くのをやめました。

今日の瞑想 「運を上げる」NO9 運がいい人とは？ 運の正体は何？
運って…私が思うのは「人生」でした。
運のいい人…自分の思い通りの人生を送っている人かなあ
瞑想しながら色々と考えさせられました。
幸運とか不運とか言うけど自分で選んで決めているのかも 私も自分が原因で病気になって不運と思っていたけど
色々なことを気づかせてもらえて学んで完治したあとは最高の人生が待ってる…
と考えると幸運だなと思える 考え方ひとつですね
意識して運を呼び込んでいくには… ありがとう 大事ですね
運がいい人の共通点…
前向き・仲間が多い・ブレない自分ある・感謝の心をもっている
そんなイメージです
「私は いい仲間にも恵まれて強運！
何があっても守られているから大丈夫！」しっかり宣言して引き寄せます！

* カウントダウンすることで逆に癌を見つめていたようでした。
しっかりフォローが入るので自分と向き合うことが出来ました。
そして、宣言通りいい仲間にも恵まれました。
完治も出来て強運ですよ。
“類は類を呼ぶ”といいますよね。愚痴を言う人の側には愚痴を言う人多い気がします。
同じ人生なら笑顔で楽しく過ごしませんか。「ありがとう」魔法の言葉だと思います。

最初は完治宣言をして コミットメントをしてもらいました。
カウントダウンを始めて そして日記を書くと皆が反応してくれるのがうれしいと毎日加陽子さんは書いていました。
彼女の記事を見ていると、今いい感じだ、今落ち込んでいるな、不安だなというのがわかります、

癌を始め 難病などの方は、ちょっと悪くなると 多いに落ち込む人が多い、ジェットコースターのように感情がアップダウンします。だからそれを見てあげる人たちが周りにいたほうがいいですね。加陽子さんの場合はお兄さんがその役割をしてくれました。

完治のコツは小さい変化を大いに喜ぶ。ちょっとできたことを大いに喜ぶんです。

まだまだ、まだまだ駄目 ではなく ああ、昨日よりも体が軽い。

いい感じだ、と喜びなさいとアドバイスをさせていただいています。喜びの感情は病気を快方に向かわせてくれるのです。

日記から 焦ってるなと思ったので(最初から複数ある癌を1か月で消すのは難しいなと思っていたけれどももしかしたら、一か月でやってくれるかもしれない、とも思った。人間の可能性はすごいものがある、それを頭ごなしに無理ですと否定してはいけないと思ったからです。

しかし、日記からこれでは無理そうだなと、感情が焦ってる。一か月で治らないにしても悪化は避けたいと思い、カウントダウンをやめて意識を自分にフォーカスしてもらうために瞑想をすすめました。

コツはセミナー時に伝えた。毎日完治イメージ法(瞑想の一種)もやってもらっているのでコツはわかっているはずだ、後は実践、その中のぶれない。やっていただきました。次第に不安が減り、心が穏やかになっていく。

さらに完治の確信が強まっていく。時期は遅れても必ず完治するとマインドが確信になってくれたらいいので、確信になるまで個人差がありますが数カ月かかる人が多いです。ですので1か月ではむずかしいのです。相当瞑想をした人とか、集中力の訓練をした人でないと、ただ、中にはそれをポンとやってのける人がいます。

セミナー後数日でパニック障害を治して電車に乗れるようになった方。

セミナー後 3 日で難病を克服した若い方もいた、学校に行けない、大学辞めないといけないと言ってたが学校に戻り卒業をしたといううれしい報告も来ている。自己免疫疾患は意外とポンと治る場合があるようなのです。

病院に行っても対処方法がなく治療をしていないからなのか、理由はわかりませんが、

ご自身が意識を変えたらすぐ変わる人がいます。素直な人。若い方が早く治る傾向にあります。20代でしょうか？

40代を超えると頭が頑固になっているのか、時間がかかるようでした。ただ、芸術家などは年齢をいっていても素直に変わるようです。私の20年のヒーリングの経験からなのですが)

瞑想は自分を気付かせてくれます。上手に瞑想をすると自己開示もできるようになります。

自分を偽るとしんどくなるので、自分に正直に生きる事 おすすめです。

健康脳になっているとご飯も美味しいです。

食事にも気を使い、野菜を多く摂るようになりました。

油にも気を使うようになりました。食用油で抽出法でなく圧搾法で作った油を選ぶ。オリーブオイルはどこでも買えるから便利です。

マーガリンも体によくない。バターのほうがいい事を知る。塩も減塩はよくない などなど 目からうろこの情報もあります。

ヤク☆トは癌にもいいとのことで、私はヤク☆トレディーをやっていたのに やめた途端飲まなくなって反省です。

(ヤ☆ルトは ちあ魔女が 高野山に行った時にヤ☆☆トのお墓?の前で手がびりびりしてヤ☆☆トが体にいらしいメッセージが来たそうです)腸がきれいだと健康なんだそうです。

玄米酵素ご飯もハマってます。元気が出ると気持ちにも余裕が持てます。

ちょっと前の私には考えられないことばかりです。

以前は健康でいられるって当たり前のようにだけど難しかった。(今では健康以外ないです)

健康に確信が持てる心が強くなります。元気だったらなんでも出来る♪ 有難いです。

病は気から…その通りだと思います。

「気」大切です。受講前と比べると気持ちも身体も考え方も軽くなりました。

私が変わったせいか、周りの友人も変わってきた気がします。

愚痴や悪口を言わなくなり明るくなりました。居心地がいいです o(^▽^)

* 玄米酵素ご飯美味しいですよ♪ 食べ物…大切です。元気だと食事も美味しいですね。

セミナーを受講して考え方や物の見方、色々なものが変わりました。人生も変わったかな。

癌になったことで多くの気づきがありました。癌に感謝ですね。

(感謝するなんてありえないと思う方もいるかもいれませんが)

6月にセミナー受けて、千晶先生をはじめ 色々な方に助けいただきました。一人では絶対に無理でした。

受講生コミュの SNS からパワーをたくさんいただきました。やっと完治報告出来ました\(^)/

今、病気と闘っている方、完治できるんです。自分を信じてください。

「私は素晴らしい」誘導オススメです。熱の間も°私の細胞は素晴らしい°と瞑想？してました。

生きてるだけで素晴らしい…本当に一人一人素晴らしいんです。

世の中に同じ人はいない…スゴイことだし、素晴らしいことなんです。

誘導を聞いてから人を見る目が変わりました。みんな素晴らしい人なんだと！ ぜひ聞いてみてください。

みなさまに感謝です♪ 本当にありがとうございました m(_ _)m

さて そろそろ完治宣言の日がきたしマンモグラフィー検査に行ってみようかな。正直 |緊張|o^D°;)))))ドキドキ
治る確信はある！と言ったものの不安がよぎります。

私は素直じゃないのかな。行こうか…でもでも ちょっとビビってる私があります。

もし前回の検査と一緒に一緒だったら、逆に悪くなってたらどうしよう。

いや、頑張ったんだから大丈夫だよ。でもでも…行かなくて済む理由を探している？

変な緊張感が襲ってくる～ 検査の結果、異常がないことだってある訳だし

行ってみないとわからないよね。思い切って明日、検査に行ってみよう。結果で後のことを考えればいいよね。

完治のイメージをしっかりしなきゃ！

* セミナーを受講してから初めて検査に行く前日の気持ちです。大丈夫と言いながら、不安な気持ちが盛りだくさんです。

どうしよう…と考えている時点で決断出来ていない私があります。今思えば甘いな、と言う感じですね。(笑)

何が何でも完治する！という決断が中途半端になっています。

自分に対しての自信のなさも出てますね。決断した 気になって、完治しているつもりになっていたんです。

完治した時には、このような不安はありませんでした。

平成25年8月 緊張しながら病院へ行きました。

前日に検診をした病院とは違う病院に行き「検査初めてです」と言って、乳がん検診を受けました。

違う病院にした理由は前の病院に行くことでデータが残っているため検査漬けになったりするのがいやだったから。

マンモが終わり、先生のエコーもドキドキ… どうか どうか

結果は…小さなしこりが2個残ってました(T▽T)

検査結果は数ミリの複数あった 15～6 個のものやそれ以上あった小さい癌は消えていて

1cm以上あった二つの癌が 8mm程度に小さくはなっていました。

えっ「D°」どうして残ってるの？あんなに一生懸命頑張ったのに あれでも足りないんだったらどうすればいいの？

私の何が間違ってたの？間違っただけなんじゃないよね。

やっぱり化学療法なしで完治なんて無理なのかな？

手術する方がいいの？いや、待って！完治はしてないけど

大きかった腫瘍以外は消えてるわけでしょ！消せるんじゃない!!おまけに小さくなってると

癌が小さくなることあるか尋ねてみると

「大きくなることはあっても小さくなることはありません」と言われました。

“いや、小さくなったし他の癌は消えたんですけど…”(と心の声が叫んでいました。)

手術、化学療法を断ると薬物療法を勧められましたけど丁重にお断りして帰ってきました。

残っていたことに少しショックでしたΣ(°Д°Ⅲ)

でも方法は間違っていないから根気よく頑張ってみよう！

決意を新たにした瞬間でした。ただ…ちあ魔女と日記の報告が…(T^T)

※このときは、ドキドキしながらの検査でした。マンモグラフィーに影が写っているのを指摘されると(T_T)でした。

エコーでは大丈夫と思いながらも増えてたら…と言う心配が。小さい物が消えているとわかった瞬間に上から目線になってました(笑) マインドが中途半端だったから当たり前ですよ。この時は何が悪いのか見当がつかなくて悩みました。同じことをしてもダメだと言うことは分かっていたのですが何をどう変えていけばいいのかパニック状態でした。この後完治を落とし込むまで苦難が続きます。

今思えば検査の時、もし癌があったらという不安がありました。素直じゃなかった。まだ、恐怖があったのに強がっていた。

完治でなかったので責められるかと思いました。ビクビクしながら ちあ魔女に連絡をすると「おめでとう、小さくなったね。」

でした。

そして「治さないといけなという執着が強すぎたんだよ。治って当たり前という感覚になっていたら良かったのだけだね」

と言われました。「この感覚になるまで がんばりましょう。小さくなったのは事実だから。」

え？ ほめられた？

「この調子なら消せるね。消せる確信になったね。」と

ああ そういえば小さいものは消えたなあ皆が小さくなってよかったね。おめでとうと言ってくれた。

残っていたけど消えたガンもある。ガンは消せる！確信がさらに強くなりました。この時も仲間がいてよかったです。

一人だったら消せないことに嫌になって諦めていたかもしれません。

兄にも責められませんでした。なんでも1か月で治せないときはフォローをしようと思っていたそうなので

一人で いきまいていてわたして馬鹿みたいです。

もともと仲間を、兄を頼ったらよかったのに…恵まれている環境に感謝します。

* 一生懸命勉強したのに、テストで悪い点数を取って怒られる… そんな心境でした。もうダメかもなあ。見放されるかもしれない。でも事実を恐る恐る報告しました。すると意外な反応が返ってきました。

気が抜けた瞬間でした。皆の励ましのメッセージで泣きました。肩の力が抜けるとラクになれます。

ちあ魔女には私のことはお見通しでした。(当たり前ですよ)

癌が小さくなったものの消えてなかったのがやっぱりショックはありました。ぴんと張っていた糸が切れたようでした。

ちあ「最初に一か月って区切ったでしょう？その前提なんだと思う？」

私「早く治したいから」

ちあ「違う、違う、前提だってば。」

私「えっと、、あ、癌が悪化するの怖いから、早く治そうと思ったから。」

ちあ「そう 恐怖から出ているよね。癌が悪化するだろうから早く決着をつけちゃおうという。最初にね、純粋に余計なものをもって 心の内側に聞いたら3ヶ月とか4ヶ月とかだったと思うよ。」

私「。。。どうしてあの時言わなかったの？」

ちあ「いや、やる気なら1か月で治す人もいるしそういう根性があるなら やって見たら応援するし それで消えたらラッキーだから。せつかくやる気になっているのに腰を折ることはしなかったのよ。否定して治るもんも治らなくなったらいけないと思ってあえて黙っていた。でも治らなかったらフォローをしようとお兄さんと話し合ったんだよ。」

それを聞いて自分なりに自分と向き合ってみました。最後の詰めが甘く、完治できなかった理由を瞑想しました。

- ・エゴが取りきれしていない
- ・やったつもりになっている
- ・頭で考えすぎ

色々出てきました。

はああ、エゴ？ 治したいエゴを捨てて宇宙にゆだねる。エゴってなんだろう？

完治や願望達成を邪魔するものの一つがエゴだったりするそうです。

エゴのない人間はいないんだけど、余計なエゴが邪魔をします。

だからエゴ抜きの方法を教わったのですが…

はっあ～ それもやったつもりかああ(T_T)やったつもりになる。私の悪い癖なのかもしれない。

ヒエラルギセミナーテキストより 許可を得て抜粋

「知ってるのと やってるのは違います。「本当にわかっているのか」「どこまでわかっているのか？」

「本当に何がわかっているの？」「わかったことは利用しているの？」 行動をしているのか

「利用しているならば、どういう結果を得ているの？」上手いっているか自分の心にきく。知っていても行動しないのでは知らないのと同じ、知らないほうがまだましかもしれない。知識(を持っているだけ)では上手いかない。行動が大切

分かったつもりについついなりがちですが反省 ちよつとだけテンション下がってしまったので
両親のお墓参りに行き気持ちを切り替える事にして元気になりました。

* 次のステップへ行くための反省でした。何が原因かが分からなければ意味がありません。

自分で気付いてこそ結果がついてきます。自分で気づかなければ意味がないのです。

そんな私に ちあ魔女は根気強く気づかせてくれました。

愛場千晶メモより

加陽子さんの癌がまだ消えてないかもというのは想定内でした。不安がまだある。意地で治している状態だからもう少し時間がかかるかな、あと2月ぐらいかかるかな、いや、ここで落ち込むと もう少し長引いてしまうかも、

最初から3カ月計画でやればよかったかとも思ったのですが、本人が1か月で治しますと言い張ったので、治そうという思いがあるならそれに任せてみよう。一か月で治らなかった場合は3カ月ではなくもう少し遅れるかもしれないけど、よほど、自暴自棄とかにならない限りは悪化することはないだろう、そう思った。本人が頑固に1か月と言ってる時に3カ月にしろと言ってキレてしまったら元もこもないので、そこは本人の意思に任せました、もしかして1か月で消えるかもしれないし、消えたらラッキーですから、本人のやる気をそぐことはしないことにした。ただ1か月で治らなかった場合はへこむから3カ月ではなくもう少し遅れるかもしれないなど、この対応は難しいところなのですが、

本人の意思を尊重させる。納得しないと人は行動しないから、(頭ごなしに言っても人は行動しません。納得して初めてやってみようかなとなるのです。)

完治はまだけど、減ったことに良かったねと、伝えた。この後、頑張れるかなと思ったのですが、どうもだれている。

最初に長期戦は苦手だからと言っていたしなああ、どうやら悪化はしないから今のままでもいいやという中だるみを感じた。これは渴をいれないとだめかなああ。そう感じた時に、兄貴から、名古屋セミナーに二人で再受講行っていいですかと連絡があった。兄貴のほうも中だるみを感じているらしい、よかったああ、こういう時は家族愛ですね、

ここで放置したら 中だるみでそこから癌が悪化するという最悪のケースもあり得るのでここはシッカリとフォローをしないとイケないですね、お兄さんの計らいで、名古屋にやってきた。

加陽子さんに 名古屋でやる気になってもらわないとなああ、

確信できてますかと聞くとハイできてます。100%できていると頑固に言い張る。

確信したつもりになっていることに気付かないのですね。

本当に確信ができていたら不安は全くないはずなのです。不安があることじたいが確信出ないのですが

頑固にできてます。と、スカイプで話したのですが、やっぱり頑固でこれは 実際にあったほうがいいな、そしてあつて話をしているうちに治る確信あるの?と聞いたら加陽子さんは

「確信できていました」と過去形でいったのです。

どうして現在形じゃないのですか。過去形したってことはできていないってことでしょう?

「そ、それは、、、」

と もごもごいっていた。本人が表面だけだったということに気がついてくれた。

自分で気付かないとだめなんですね。

ここが難しい、私たちは「できているつもり」になっている、その事すら気付かないのです。

誰かにしてもらわないと気付かなかったりします。それも身内だと反発するので身内でない人にしてもらおう。

自己開示、ハートをオープンにすることが意外と難しい。だから、仲間の応援力が大きなサポートになります。ここを超えたら、またグリーンと飛び出してくれることを期待して、おしりをたたきました。

兄からアドバイスを受けて TO DO リストを作り直してもらいました。

しっかり自分を見つめ直し、認めてあげること。100%自分を愛することをしていきます。

そして、兄に名古屋で開催されるセミナーに行ってみないかと言われました。

伊勢神宮はツアーだったのもっとゆっくり回りたいと思っていたのは事実でした。

何でも名古屋でセミナーがあるらしく私のテンションが落ちているので誘ってくれたようでした。

そうだな、再受講無料だし行って見るかな。前ははいっぱいはいっぱいで、話の半分も頭に入っていないかもしれない、どれを聞いたか覚えていないので再受講行こうと思いました。

名古屋のセミナーへ行ってみました。理解出来てる部分と中途半端な部分があることが判明!

再受講で説明を受けながら再インプット! 完治に対しても確信したつもりになっていました。

再始動で足踏み状態になっていた私が歩き出すことが出来ました。

エゴを捨てる、感謝のありがたの大切さを再認識です。家族にありがとうをワークにしています。

- ・イライラしたり、怒らなくなった
- ・汚い言葉を使うと気分が悪くなる
- ・落ち込むことがなくなった(へこんでもすぐに復活)

- ・悪いこと(嫌なこと)がなくなった
- ・自分と向き合えるようになった
- ・色々なことを楽しめるようになった

私のハートは まだ詰まっています。頑固な私も健在しているらしい…無意識で気付いていない(泣)
初セミナーはいっぱいいっぱい、身体もがちがちで 半分も聞いていなかったことが発覚しました。
こんなこともいってる。あんなことも言ってる。

ちあ「テキストに書いてあるよ」

そうでした。もう一度 初心に帰ってみよう。

* 再受講をすることでテキストを見返し気付くことがたくさんあります。わかったつもり…が多かったです。

決断力の弱さ確信が中途半端(100%でない)なこともわかりました。

SNS のコミュニティを通して皆さんが私を知っていました。

「日記、読んでます。頑張ってくださいね。」「応援してます。」

と生の声をもらうとモチベーションが上がります。

再受講生も多いです。皆さんから多くのパワーをいただきました。

受講生と考え方をシェアすることで今まで知らなかった自分を発見することもできます。

気持ちを切り替え、再始動始めてから少しずつ変わってきました。

エゴをどけるイメージ作業を繰り返すうちに周りの言葉が気にならなくなりました。

ネガティブオーラの友人と会話してもスルーしてイライラしません。

今まで色々な場所で

「すみません」と言っていました(食事の注文や物を尋ねるとき)

「ちょっとお尋ねします」「お願いします」と言えるようになりました。

何もしていないのに謝る必要ないですよ。

自分が発する言葉にも気をつけます。

シッカリ断定する言葉を使います。

たまに”しまった！”となって言い直してしますが…

食事も一人だと手を抜いていたのですが最近はバランスを考えて野菜中心で作ってます。

めんどくさがるの私が進歩です(笑) 自分が大好きだから大切にしよう!

* 言葉って大事だなと思えるようになってきた頃です。

「すみません」と言っている時は、すぐに謝っていたと思います。

物を拾ってもらった時に「すみません」と言うより「ありがとう」の方が

気持ちいいと思いませんか?

家族に対しても同じです。今更照れくさいと思う方もいるかもしれません。

でも言われて嫌な気持ちになる人はいないですよ。

家族だから尚更「ありがとう」が大切です。この一言は幸せになれる魔法の言葉ですよ。

10月 ちあ魔女から勧められていた 5 食抜き&瞑想をしました。

3日、5 食抜き開始! 最初はお腹空くかもなぁと不安がありました。

酵素はどれだけ飲んででもいいとのことだったので小腹が空く度に飲みました。

(甘くて美味しいのでストレスなしでした)

意外とラクかも…体重も減ったらいいなと言ったら ちあ魔女に怒られた！

体重が減ると体力がおちるから減らさなくていいと癌が治ったら減らしなさいと言われました。はああ

断食でも そんなに体重は変わらないそうでした。ですよね。、1日でかわるわけないかああ

用事をすませた帰りの車の中で体に異変が…

体の節々が痛い…何かおかしい 風邪？帰り着いた途端に熱でダウンでした。

最初は「熱 上がれ～♪」で良かったのですが

あまりにも気分が悪くなり2度程 解熱剤飲んじやいました。

でも癌細胞は熱に弱い！もう少し熱が上がっても良かったのに

39. 2度は測定する気力はありましたが最高 何度まで上がったか不明です。

呼吸法をしようと思っても苦しくて息が出来ないので無理 瞑想も頭痛に負けました(泣)

唯一出来たのは 意識を頭からハートに移し自分と向き合うことでした。

私の細胞、血液全てが頑張っているのに意識が負けちゃいけない！いや、負ける訳ないか！

夜中に「絶対に勝つ！完治する～」と叫んでました。今までの私なら すぐに抗生剤の薬を飲んだり病院に行っていました。

でも 自己治癒力で治りました！v(^▽^v

何が原因で発熱したのか不明です(風邪の症状何もなかったです)

せっかく減った体重も食欲が戻り元通り(笑)そのあと身体の調子がとても良くなりました。

* 自分で作った酵素での5食抜きでした。

体の中をリセットして自分自身もリセット出来ればと思いはじめました。

自己治癒力が活性化して熱が出たんじゃないかと思えます。

あまりの辛さに解熱剤を飲んでしまいました。我慢すれば良かったと後悔です。

ちあ魔女にも「なんで飲んだの！勿体無い。癌が消えたかもしれないのに」って言われました。

100%の決断に至ってなかったから解熱剤に手が出たのかもしれないですね。

今の私だったら絶対に飲まないですよ。

熱が出てから体調がすっごくいいです。これでガンが消えたかも！

でも、いや、解熱剤飲んだじゃったし…という思いが交差しました。

マンモは痛いので もう行かない。行く時は絶対に治っているはずだ！

という確信が出る時まで待つことにしました。焦る必要はないよね。

確信が100%になってからでいいや それに、解熱剤飲んでしまったのもあるしなあ

また小さく残っていたらいやだしそうだ！薬があるから頼るんだよね。

思い切って捨てちゃえ！もう家の中から薬という薬を捨てました。

次 熱が出た時に備えて、そうしたらあるわあるわ 薬の山 病院でもらった薬が次から次に出てくる…

どんだけ病院に行ってたんだか。

兄の家には薬はないらしい。ちあ魔女のところにも常備薬すら無いって言ってたし。薬は健康なら いらないんだらうなあ

* この時は解熱剤を飲んだことを後悔してましたね。飲まなかったらもっと高熱が出て、消えたんじゃないかな。

でも消えてるような気もするし…病院で検査する勇気はないくせに、色んなことを考えてました。

このことをきっかけに薬を処分し、気持的にもスッキリしました。健康なら薬はいらないですよ。

もしも完治していなかったら…という恐怖心がなくなりました。

肩の力が抜けて自然にしていたら消えるんだなと徐々に思えるようになっていました。

『なんであんなに焦って早く治したかったんだろう？ 早く進行すると思っていたんでしょね。

意識が変わって定着するまでに早く3カ月ぐらいかかるらしい

最初はピンポンのように揺れる人が多い 治る 治るはずだ。 いやもしだめだったらとね、

ここであきらめてしまう人が多い。 それではもったいないんで SNS に書いて

その気なってもらったんだよ。 毎日毎日 治るイメージをしていると

誘導が特殊音声だからマイナスの思考も消えていく

倍速の音声のは 治るわけないというマイナスの思いが減っていく

精神力も強くなる そうなるまでに数カ月かかるからね。あわてなくていいよ。

年内治して 来年でも検査行ったらいいのでは？

悪化していないのはわかったんだし、 力が抜けたでしょう？』と言われました。確かに焦っていました。

早く治さなきゃ！となんであんなに焦っていたんだろう。

今は笑えるけど…どこかに治らない、悪化しちゃうという不安があったんだと思います。

* 焦りがなくなり、肩の力が抜けてからラクになりました。

このままいけば完治するな…という気持ちが強くなってきている頃です。

心も身体も元気だし、こんな私が病人のはずがない！

周りの友人にも「いつも元気で悩みなさそう」と言われるぐらいでした。

数人の人しか知らなかったのも、常に私は元気な人でした。

それが良かったんだと思います。おかげで元気にい過ごしているうちに

病気のことを忘れることが出来るようになってきました。

癌完治の思いは かくの如くふるまう事でした。治ったようにふるまう。そういえば最近 それが自然に身についている！

以前はテレビで病気の特集をしていると気になって仕方なかった。

癌の特集をしてる…再発の確率？

気になる～私は大丈夫なのかな？

ピンクリボンの広告がやたらと目に付く。何となく体がだるいと気になって仕方ない。

おまけに不安になる。

でも今は目に入ってきても、全然気にならない

どうしてだろう？完治することがわかると

病気は自分に関係なくなるので気にならなくなる。不思議です。

花粉症の人は杉の木が目に残るけど他の人は気にならないのと同じです。

ただ ちあ魔女にダイエットはするなと言われました。

痩せてしまって体力が落ちるといけないからとのことでした。

ダイエットをしたかったら完治してからにしないと。

癌が悪化するという不安がなくなっていました。セミナーを受けてから4カ月がたちました。

* 4ヶ月たち、思考が変化してきました。完治に対しての不安がなくなり、確信に近づきつつありました。理屈はわかるけど、確信までの自信に繋がられない頃です。

何で癌になったんだろう？瞑想ができるようになって自分の内側に聴いてみました。
最初兄に自己否定だと言われた時は違うってば！何言ってるのよと思いました。
さびしいから癌を引き寄せた それもありました。両親が癌だったからもありました。
要因はなんだろう？瞑想をして探っていったら 寂しさ そして 忙しさにかまけて自己肯定をしていませんでした。母親であることが私。母親が終わってしまったら私が私でなくなる…あ！！だから乳がんなんだ。
ハートだから、それを自己否定というんだ。今なら分かります。
母親である以前に私は一人の人間でした。その事を忘れていました。
私＝母親 だったから子供の手が離れた時に癌が発覚した。
多分、3年ぐらい前に癌になっていたのかもしれませんが。丁度、親の介護が終わった頃かも。
息子が小学校を卒業し、中学、高校と進むにつれ私の役割は終わったと思っていました。
それもあるのかもなあ、子育てが終わったんだから今度は自分のために生きなきゃ！今はそう思えます。
後は 両親の看病をずっとしてきました。癌の恐怖が焼き付いていた、でした。

* ガンになった原因を探して取り除くと再発の心配がなくなります。原因を探して向き合うことが必要です。
私は大丈夫！と思っても、心のどこかで自己否定をしている方が多いです。
しっかり自分と向き合い、認めることが大切なんです。
自分のことは二の次…なんて思っていないですか。自分自身が一番でなければ二番はないんです。
もっと自分を愛して、大切に。

何で癌になったんだろう そう考えたときに 自己否定が癌の餌だったなんて…今ならわかります。

癌細胞が好きなものに

- ・自己否定(不規則な生活や食事も含めて)
- ・不安
- ・忙しすぎ

(理由探しは癌の時は一人でやらないほうがいいそうです。理由探しをしても原因をみつけて落ち込んでも仕方ないから私はさびしいというのが分かった。自己否定だというのも分かってきた。

理由探しをする時は 一人でやらない 解決策を知っている人に付き添ってもらう方がいいです。

でないと 癌の原因を見つけた！ショック Σ(°Д°Ⅲ)

となりテンションが落ちてしまうと 免疫も落ちてしまい困るからだそうです。

原因を見つけた時に 『こうしたらいいよ』と対策を練ってくれる人と一緒だといいそうです。

私の場合は兄でしたが兄がわからないときは ちあ魔女に連絡をしてアドバイスをもらいました。

アドバイスをしてくれる人がいてくれるのは心強いです。同情してくれる人ではないです。同情はマイナスになります。

一人で理由探しをするとマイナス思考になりがちです。原因を見つけたらしっかりケアすることが大切になります。

瞑想をしてわかった事

癌はたまたまなるわけではない 癌はたまたまできるわけではない。偶然にできるわけではない 私の体験から思いました。

原因と結果の法則があります。癌になる原因が私の中にあつたのです。

これを最初兄に言われた時は凄く反発して『そんなわけないでしょう！』と逆切れをしました。

兄に『おかしいんじゃないの？そんなの偶然に決まってるじゃないの

そんなこと言ったら 癌の人みんな必然なの?』と。

でも 今なら必然だったと思えます。体験からわかるんです。

だからこそ思考を変えたら癌が治るんだと癌にならない思考を持ったらいだけ

それには「自分を大好きになる」無理しすぎない

自分の素晴らしさを体感し表現する 身体にいいものを食べる でした。

これに気付けば一生癌になることはないと思います。

* 絶対老衰で自然死がいいですよ。100 歳まで生きよう！そう今は思えます。

絶対死ぬ時は老衰にしよう。両親がなしえなかったことを兄妹でやるぞ！二人で長生きをするぞ！と決断をしました。

私は 100 歳まで生きます。そして 100 歳になった時に「あんなこともあったね」と笑うんだもん

元気なおばあちゃんになるぞ。決断!!人生は一度きりです。一度きりなら健康で楽しく生きていきたいですよ。

思考を変えたら可能になるんです。

ドクターやら看護師などの医療関係者何名かに聞いたのですが。抗がん剤で治るのかと、悪性リンパ腫は抗がん剤で治りやすいけど後ののは難しいとのことだった。さらに質問をした、

「自分癌になったら抗がん剤はやらないかもしれない」と答えた方が多くいた。そんな自分がやりたくないものを患者にやるわけ？癌になった ドクターがいたのですが、彼はこういってました。

「僕はね、抗がん剤しなかったよ。手術だけして、後は妻がハンドヒーリングをしてくれて、でも、患者さんには全部やるよ、僕の立場もあるんだ。雇われドクターだから、しかたないんだよね。効かない抗がん剤をうつつかないんだよ」といっていた。それを聞いた時に体が凍りついた。お酒の席だったので私はそのドクターに食ってかかったのを今でも覚えています。

もちろんそんな医者ばかりではないと信じたいが、

ある看護婦さんは 抗がん剤でも治る人はいるのよ、ごくごくわずかだけどね。初期だといわれたって再発するし、治る人はごくごくわずかの前向きな人ね。ただ治療はしんどいし、髪の毛抜けるし、治療に何年もかかるから、苦しい、5年再発しなければいいというけど10年とに再発する人もいるのよ。そういう人をいっぱい見てきた。相当強い人でないとだめだよ、もしも自分が癌になったら絶対抗がん剤 しないわよ、あんな恐ろしいもの。」看護婦さんの中でも偉い方です。

どれが正しいか、自分の直感を信じて行動するしかないと思う。

だから普段から直感を鍛えておく、直感を鍛えるために自分を信じる事、体をいたわることが大切になってくる。

ただ癌にならない思考があるなら、それを実践して癌や大きな病気にならないようにするほうがいいと思う。

そういう思考が存在するんだと私の師は教えてくれた、

師の一人 80 歳を超え、50年実践し、複数いる兄弟全員病気にならずに還暦を迎えたのが 10 年近く前のことだそうです。誰だって病気は嫌だと思う。ただ病気にならないマインドがあることを知ってなおかつ実践をしている人は少ないように思う。

本当にこの方法が役立つかはそれぞれで実践をしてみないと何とも言えない。ただ実践したとしてもマインドを変えるだけで、薬を飲むわけではないのでリスクはない、素直にやってみてもいいのではないだろうかと思うのです。

疑わずに まずやってみる。

ちなみに、病気にならない思考とは、素直な事、明るいこと、前向きな事、自分の直感を信じ直感に従って行動をすること、愚痴を言わない楽しい仲間にも恵まれること。自分は心身ともに健康で長生きをすると心の奥底から信じる事です。簡単にいうと。

加陽子さんのマインドがどう変わった方を おつたえすると（これが完治のカギになります）

最初のがんになった時ショックで、両親の死と自分をダブらせショックだった。気丈にふるまいつつも恐怖と背中合わせだった、自分が死ぬ夢を見て、このままいたら死んじゃうかもという恐怖もあったと推測します、それが治る決断すらもできていなかった。

治る決断（何が何でも治すぞという決断がなかなかできない方が多くいます。難病などの方の大半は決断ができないでいます、決断についていうと本が書けるぐらいの量になりますので簡単に説明をするとまわりが何と言おうと、誰が何と言おうと。治すんだ、治してこれをやるんだという決意です。

決断→ 私は治っていいかも（自分を許す 皆が応援をしてくれる。うれしい、なあっていいんだ、自分を責めるのをやめる、自分は存在してもいいんだ。価値があるんだということに気付く 治りそう（期待 悪化や転移の不安が消えてきた。）

自分と向き合ううちに、がんになった理由が何となくわかってくる。病気と感情はつながっている、意識を変えた→ 皆の応援（マイナスの人に近づかない、治らないという人を遠ざける） 治るに決まっている。（ここが大事）

この治るに決まっているになった時に奇跡が起きたのです。

最初から治るに決まっているという意識にするのは難しいですが、彼女のように徐々に意識を変えていったらいいかと思います。このようなマインドが完治マインドなんですね、

病気で苦しんでいる方 このマインドを真似てみてください。

家族が病気の方 加陽子さんのお兄さんのように「治ることを信じてあげる、不安ではなく、安心の光を送ってあげる事が 病気快方に向かうかぞくのころのモチカたなのですね、

悪化したらどうしようという不安な思いを伝染させない、不安になったら呼吸法で不安を取り除く、相手が頑固でも忍の思いで焦らず待つてあげる広い心を持つ。

心の中で完治するからねと 伝えると 不思議とその思いが相手に伝わり伝染します。

病気にならないか不安な人は、健康で長生きをする前提を持つようにチェックをする。最初は難しいかもしれませんがこの前提は病気前提だろうか、それとも健康で元気に長生きする前提だろうかと自分に聞くことを習慣にしてみてください。

前提が変わると脳が健康になれるという指令が出ますので病気になりにくくなります。これが健康脳です。

前提を変える事、是非してみてください。

最後に不安をとる呼吸法の誘導（イヤホンで聞くと耳ではなく脳から響きます。

きき続けることで脳を刺激し不安が取れていきます。良かったら聞いてみてください。

セミナーで習ったこと

「見つめるものは拡大する」確かに乳がんと言われてからバスに書いてあるピンクリボンの広告が目についたりテレビをつけると、不思議と乳がん特集をしてる。これって偶然？

と思っていましたがやっぱり気にして意識している（見つめている）から目につくんだ。

やっぱり情報が目や耳から入ってくると不安になる時もある。

この時点で私の病気を知っているのは少しの友人だけでした。私が完治することを信じてくれる友人。

ガンが少し残ってしまい私が迷ったりした時一般的には

「ガンが消えるなんてありえない。手術したほうがいいよ」と思い病院に行くことを勧められてしまう。

でも友人は「自分で完治するって決めたんでしょ。出来るよ。絶対。出来ない訳ないじゃん。自分に自信を持たないと。」と叱咤激励してくれる。有難かったです(涙)

受講生サイトの SNS でも皆さんからもパワーのある言葉をたくさんいただき励みになりました。

一人では途中で挫折していたかも…と思ったことは一度や二度ではありません。

信用、信頼して励ましてくれる仲間力は偉大です。多くの素晴らしい仲間恵まれました。感謝です m(u_u)m

* 言葉には驚く程のパワーがあります。心無い言葉に傷つくこともありますよね。

逆に勇気と愛をもらい、奇跡を起こすことも出来るんです。

言葉で空気が変わります。愚痴や悪口を言う人の周りには同じような人が集まります。

元気な人の側には元気な人が多いですね。良い言葉を使っていると笑顔が増えます。

笑顔は周りの人を幸せにするんです。いつも笑顔でいるために愚痴を止めて感謝してみませんか。

平成26年2月

もう大丈夫じゃないかな？そろそろ検査に行ってみようかな。

お正月も開けたし…とっていたら

体調を崩して熱を出しました。

よし!!、今度は解熱剤飲まないで頑張るぞ～

検査前の総仕上げ！の気持ちで高熱を楽しむことにしました。

2日間は体中激痛でしたが3日目には落ち着きました。

高熱の間も熱が細菌を攻撃しているイメージで激痛も意外と楽しめました。

今回は39.5℃まで上がりました。

高熱の間不思議なことがありました。

寝ている時に頭上から光が差ってきて体が包まれている感じがしたんです。

「え？」と思って目を開けると真っ暗でした。

熱のせい？とも思いましたが、そのときは落ち着いていたので勘違いではないし…

完全復活のサインだ～♪と勝手に思うことにv(^)

病院での検査が楽しみになってきました♪

* 完治を確信し、検査に行こうと思っていた矢先の出来事です。

熱と関節痛だけでした。薬も飲まず、病院も受診しませんでした。

もしかすると自己免疫が活性化して残りの癌細胞を消したのかもしれない。

人間の体は不思議なんです。心に反応してくれます。

そして 準備万端、治っている確信 100%だったので
マンモグラフィー検査のために病院へ行きました。

前回の検査の時とは全く違う感覚です。

前回は「もしも癌があったら」という不安が少しありました。でも今回はまったくないんです。
不思議なくらい落ちついてます。

『治っているに決まっている！ 昨年行こうと思ったけど待って、待って
気が短い私がこっだけ待ったんだもん
もう大丈夫!! ない確信…100%』

さて 機は熟した！

癌検査マンモグラフィーにいざ出陣！

これで最後の検査になると思いました。

もう大丈夫 癌なんてあるはずがない！ そう100%思えた。

、ワクワクしながら病院の門をくぐったのでした。

このワクワクが大事なかもしれません。

その甲斐あって検査では異常なし！でした。

完治しました～\(^)/

* 病院に行くまでの道のりはワクワクでした。前回は不安のドキドキの方が強かったかな。

この違いが大きいですね。確信が更に確信になる。そんな感じでした。

「大丈夫ですよ」と言われた時も”ヤッター”と言うより”当たり前”と言う感じでした。

ちあ魔女、兄に報告し、治療完了！と思ったと同時にやりたいことが盛り沢山。

その前に「私の体にありがとう」私に関わってくださった人たちに感謝です。

マンモグラフィー検査

マンモ検査では怪しい影があるとされました。

この時

(先生は見つけた！という感じでうれしそうでした)

私は「残像だよなあ」という印象でした。

「だって癌のはずないもん」と 不思議と動揺はしませんでした。

詳しくエコー検査をすることになりました。

エコー検査 長かった… 通常15分程度で終わるはずなのに～

1時間弱調べてました。

マンモで影があったところに 異常がないので2人の先生が必死に見つけてました。

上半身ゼリーでベチョベチョ状態(罰ゲームみたいでした)

2人とも首をかしげてましたが、ないものはないんです！

去年の健診からちょうど1年… 不思議な感じです。

この1年、激動でした。

手術を拒否して正解でした♪

千晶先生をはじめ 色々な方に助けていただきました。

一人では絶対に無理でした。

SNS からもパワーをたくさんいただきました。

やっと完治報告出来ました\(^)/

今、病気と闘っている方、完治できるんです。

自分を信じてください。

「私は素晴らしい」誘導オススメです。 NO15 で誰でも聞くことができます。

高熱を出して寝込んでいる間も°私の細胞は素晴らしい°と瞑想？してました。

生きてるだけで素晴らしい…本当に一人一人素晴らしいんです。

世の中に同じ人はいない…スゴイことだし、素晴らしいことなんです。

誘導を聞いてから人を見る目が変わりました。 みんな素晴らしい人なんだと！

ぜひ聞いてみてください。

みなさまに感謝です♪ 本当にありがとうございました m(_)_m

そして私加陽子はネクストステージに飛び立ちます。

癌完治、ネクストステージは何があるか

人生をどう作っていくか楽しみです。

皆に応援されて 癌を消す事が出来ました。兄やちあ魔女 セミナーの受講生の仲間たちの励ましで

癌がきえ 冷え症が改善され、頭痛も消え 疲れやすさもなくなり とっても元気になりました。

だから 今度は 応援する側に回りたいです。

まだまだ 未熟ですが 兄に支えられ これからも 元気で そして

元気な人を増やす側に立って 発信をしていきたいと思えます。

ヒーリングルーム愛株式会社の愛場千晶さん

プロヒーリング集団 ストレスバスターズの兄 鮫島佑介兄貴に

私が元気で生き続けることが彼らへの最高の恩返しになる。だから 私 輝きます。

ユーチューブ動画はこちら

